

札幌市公共測量作業要領

表・図集

表-1 基準点・境界点 記号一覧表

名称	記号	種別		適用	
基準点	1級基準点	例) 2008-201-001	-001~-nnn	永久標 【作業規程第31・32条】	すべての測定の骨格となる基準点 ※4級基準点は、経路別にA、B、C…の補助記号で分類する
	2級基準点			標杭・金属鋳	
	3級基準点	T	T1~Tn	標杭・金属鋳	
	4級基準点	例)TA・TB・TC	TA1~TAn	標杭・金属鋳	
	図根点	例) 図1	図1~図n	専用コンクリート標	地図整備・地籍調査で設置する基準点
	水準点	KBM	仮BM1~仮BMn	木杭・金属標等	工事等の目的で設置する水準点
	道路基準点 (中心点)	S KS C	必要に応じて仮杭等で明示 コンクリート標・金属標等		中心線における確定条件の交点・折点 中心線における計算上の交点・折点 既設道路中心標
境界点	既設境界標	E	コンクリート標・金属標等		基準点から観測した既設境界標
		DE	道路境界標		基準点から観測した既設道路境界標
	新設境界標	N	道路	(ダクタイル標) コンクリート標、金属標	確定した道路境界点 ※事業で確定する場合はL・R
		L・R	街路・ 道路事業	(ダクタイル標) コンクリート標、金属標	街路・道路事業で確定した道路境界点
			河川事業	コンクリート標 (T字型)	河川事業で確定した河川境界点
		LM・RM	コンクリート標・金属標・木杭等		街路・道路・河川事業で確定した直線上の筆界点
		LK・RK	木杭・タック等		確定した事業区域内の筆界点
	M	コンクリート標・金属標木杭等		市有地及び私有地において確定した、道路境界点以外の筆界点	
	計算点 (仮設点)	K	必要に応じて仮杭で明示		計算点及び未確定の筆界点 ※KN・KL・KRなど

【合せ記号の意味】

- 調査測量等において設定したK(計算)点について、関係地権者の承諾により確定に至った場合に、頭にL・Rを加え、確定点を意味するLK・RKとなる。
- 確定を前提として成果を作成したものの、最終的に承諾が得られなかった場合は、予定していた記号(N・L・R)の頭にKを加えて、KL・KR・KNとなる。

表-2 図中 記号一覧表

	名称	記号	適用
図中記号	起点・終点	B P・E P	路線測量において仮杭等で明示
	交点	I P	路線測量において必要に応じて仮杭等で明示
	中心点	S P	路線測量において仮杭等で明示
	円曲線の 始点・終点	B C・E C	単曲線区間 路線測量において仮杭等で明示
	緩和曲線の 始点・終点	B T C・E T C	緩和曲線区間 路線測量において仮杭等で明示
	曲線半径	R	
	方向角	Z	平面直角座標系の北（X軸）から時計回りの角度
	交点・折点間 延長	C D	交差点・折点等の点間距離 ※詳細については「道路台帳作成要綱」参照のこと
	区域区間延長	D	区域区間の始・終端間の距離 ※詳細については「道路台帳作成要綱」参照のこと

【図中の記号と表示の変遷（参考）】

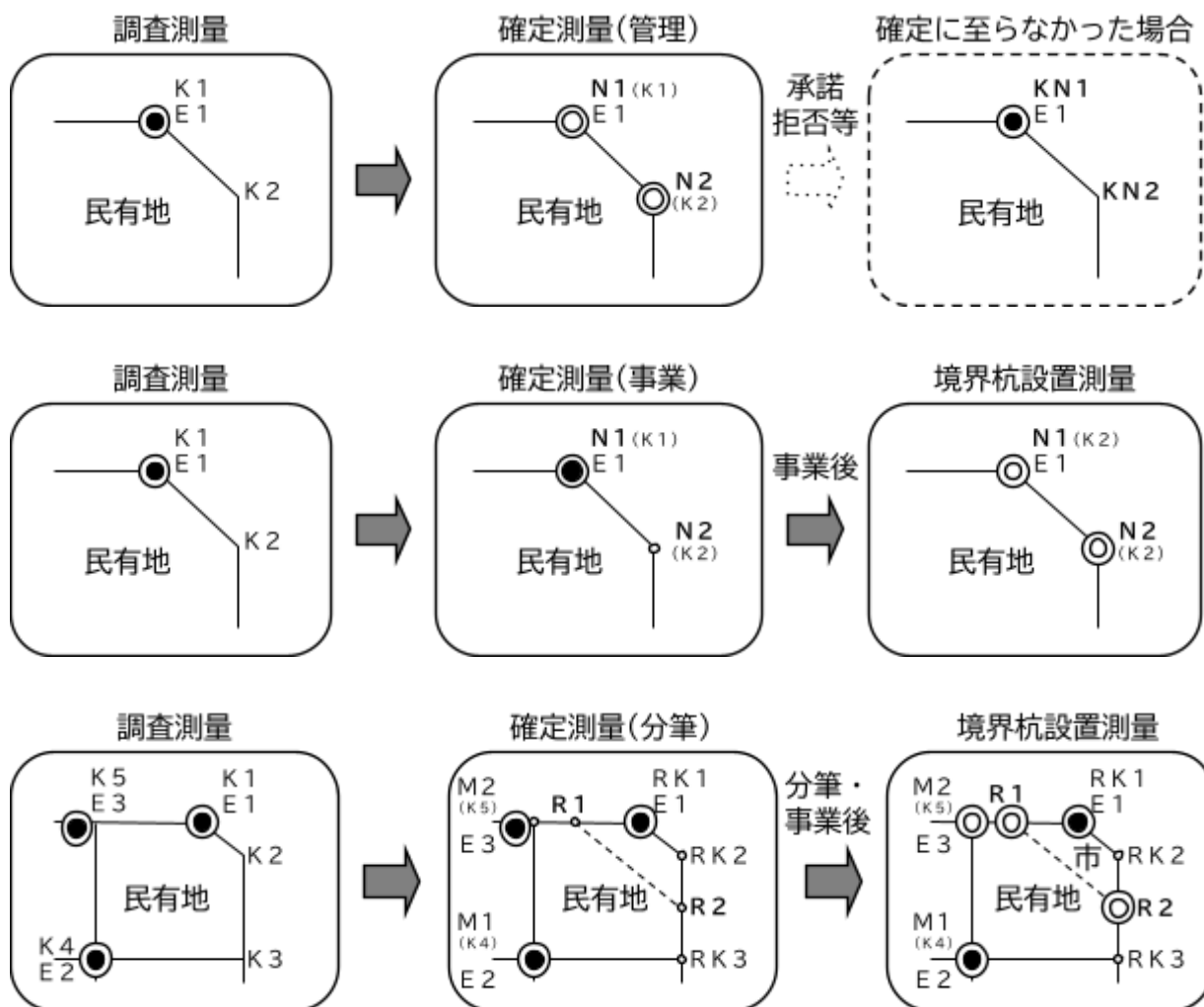


表-3 資料コード表（基準点測量、用地【調査・確定】測量）

資料名	資料コード	○：公開	×：非公開	適用	
		調査測量	確定測量		
位置図	00	×	○	作業要領 様式12	
1～3級基準点経路図	01	×	○	作業要領 様式14・15	
1～3級基準点網図				作業要領 様式16・17	
基準点の“点の記”				作業要領 様式2～5 ※ 永久標に限る	
4級基準点経路図	08	×	○	作業要領 様式14・15	
4級基準点網図				作業要領 様式16・17	
精 査 過 程 図	過年度成果一覧表	14：調査		作業要領 様式19	
	基準線設定図			×	○
	街区図	15：確定		作業要領 様式22	
	各筆図			18	×
成 果 表	T, TA	26	×	○	作業要領 様式27
	N, L, R	27	×	○	
		57	×	×	
	C	28	×	○	
		58	×	×	
	DE, E	28	×	○	
		58	×	×	
	M, LM, RM, LK, RK	29	×	○	
		59	×	×	
	S	30	×	○	
32		×	×		
K	31	×	×		
用地平面図	47	×	○	作業要領 図-6, 7, 8, 10, 16	
	51	×	×		
用地実測図	48	×	○	作業要領 図-5, 9, 11, 17, 19	
	49	×	×		

注 調査と確定で資料コードが異なる項目について、調査測量の成果を基に確定に至った場合は、業務内容に適した資料コードに改めること。

表-4 資料コード表（区画整理事業、地籍調査事業、開発行為）

1. 区画整理事業

資料名	資料コード	○：公開 ×：非公開	適用
街区計算書	44	○	
各筆計算書	45	○	
再計算	56	○	

- (1) 納品形態はPDF紙ベースとする。
(2) 使用する色は、黒（モノクロ2値）とすること。
(3) 用紙のサイズは、A4版又はA3版（横長）を標準とする。

2. 地籍調査事業

資料名	資料コード	○：公開 ×：非公開	適用
精査過程図	15	○	街区番号一覧図、街区図 面積計算書

- (1) 納品形態はPDF紙ベースとする。
(2) 使用する色は、黒（モノクロ2値）とすること。
(3) 用紙のサイズは、A4版又はA3版（横長）を標準とする。

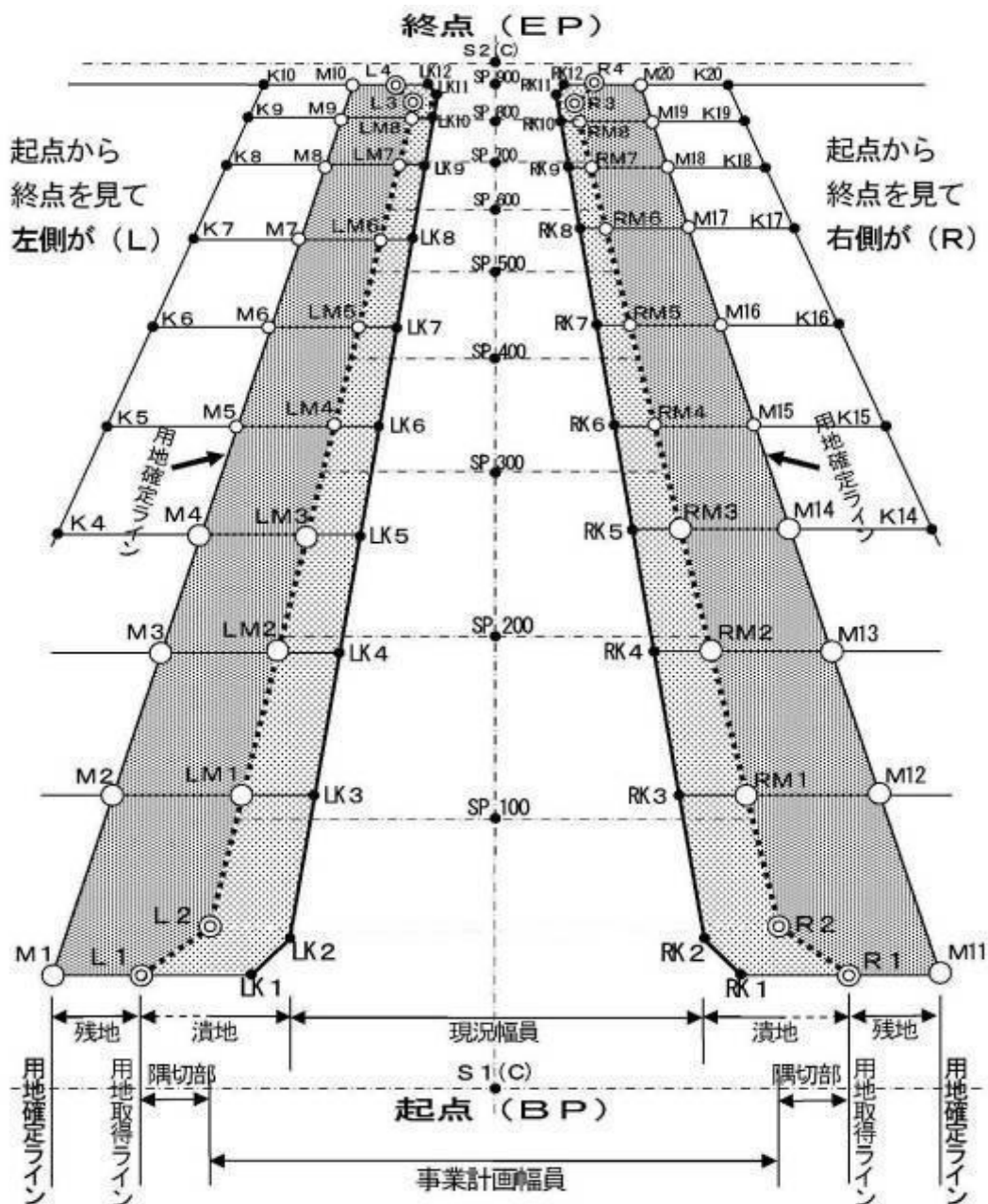
3. 開発行為

資料名	資料コード	○：公開 ×：非公開	適用
開発行為	54	○	完了検査願書、審査書、 街区図、成果表

- (1) 納品形態はPDF紙ベースとする。
(2) 使用する色は、黒（モノクロ2値）とすること。
(3) 用紙のサイズは、A4版又はA3版（横長）を標準とする。

図-1 街路・道路事業における境界点記号の配点例

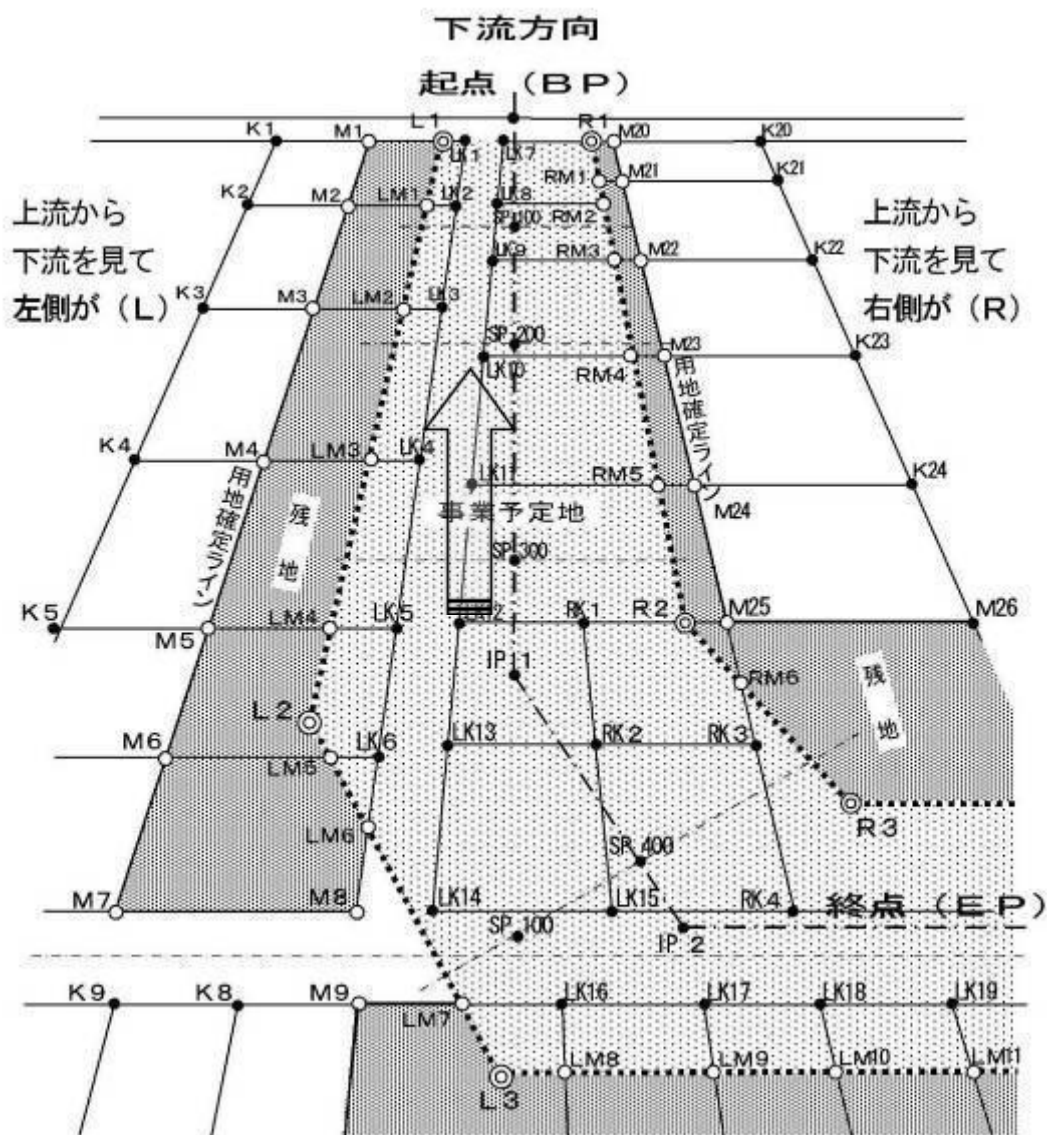
記号(確定点) : L・R・LM・RM・LK・RK・M・S・SP
 (計算点) : K・KS・(SP)
 (既設点) : E・DE・C



1. 関係権利者の確認(承諾)が得られなかった点について、頭にKを付け加えること。
2. 用地確定ラインの境界点(M)について、過年度にK点が付されている場合は、頭にMの記号を加えて、MKとすることができる。
3. 用地幅杭が必要な場合は、作業規程 第655条に従って、中心点等から中心線に直交する方向の用地幅杭点に設置するものとする。
4. 中心点(SP)は、設計図書及び担当職員の指示により設置するものとする。

図-2 河川事業における境界点記号の配点例

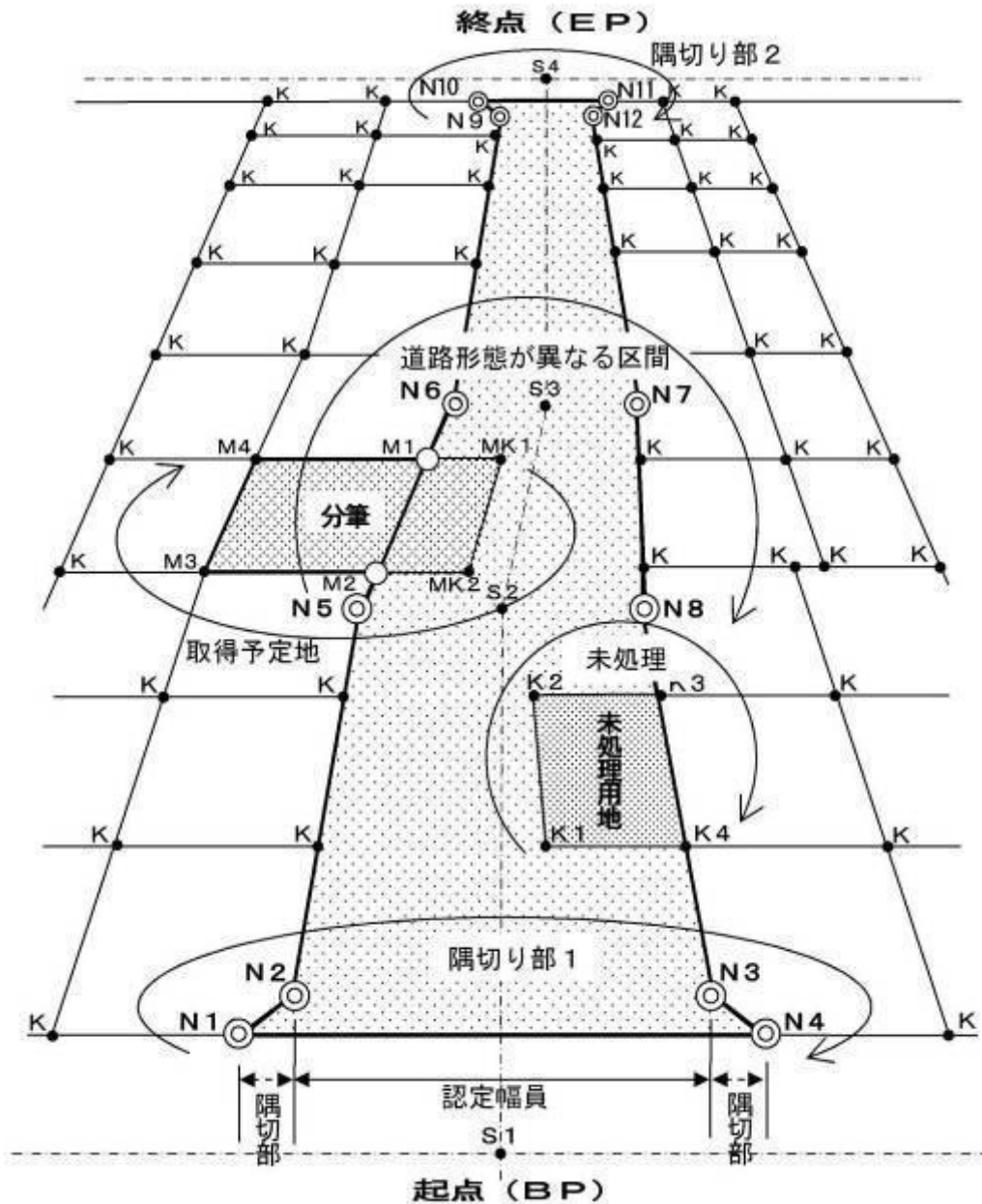
記号(確定点) : L・R・LM・RM・LK・RK・M・S・SP・IP
 (計算点) : K・KS・(SP)
 (既設点) : E・DE・C



1. 関係権利者の確認(承諾)が得られなかった点について、頭にKを付け加えること。
2. 用地確定ラインの境界点(M)について、過年度にK点が付されている場合は、頭にMの記号を加えて、MKとすることができる。
3. 中心点(SP)及び交点(IP)は、設計図書及び担当職員の指示により設置するものとする。
4. 用地幅杭が必要な場合は、作業規程 第655条に従って、中心点等から中心線に直交する方向の用地幅杭点に設置するものとする。

図-3 市道認定又は道路台帳整備事業における境界点記号の配点例

記号 (確定) : N・M・S
 (計算) : K・KS
 (既設) : E・DE・C

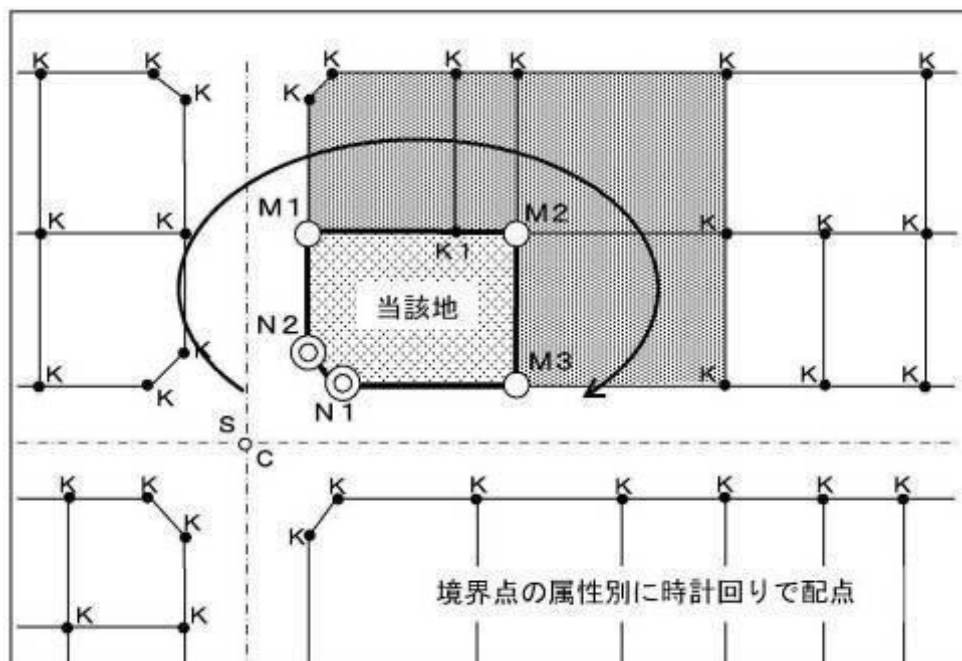


1. 開発行為各境界点の番号は、道路形態が異なるごと（隅切り部・屈曲部・不定幅等）、又は分筆等の対象地ごとに、起点側から時計回りで整理すること。
2. 認定（予定）区域内に未処理用地がある場合は、その境界点についても全てK点（時計回り）で整理すること。
3. 詳細については、道路台帳作成要領を参照のうえ、担当職員と協議すること。

図-4 一筆地等における境界点記号の配点例

記号(確定点) : N・M・S
 (計算点) : K・KS
 (既設点) : E・DE・C

1. 境界点の一部が道路境界点と一致する場合



2. 直線の道路境界線に接する土地の場合

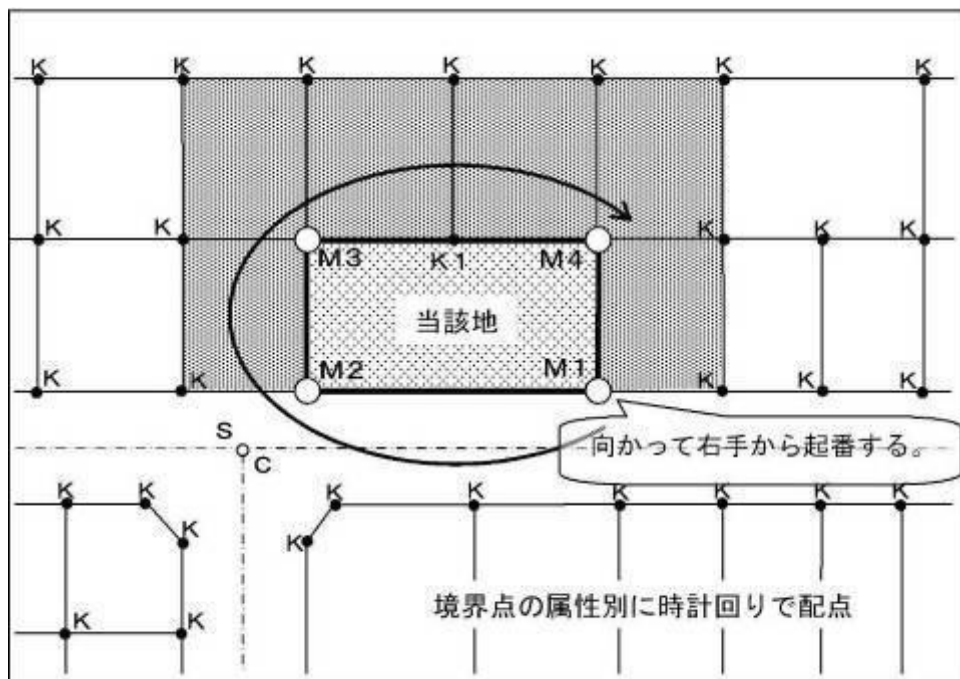
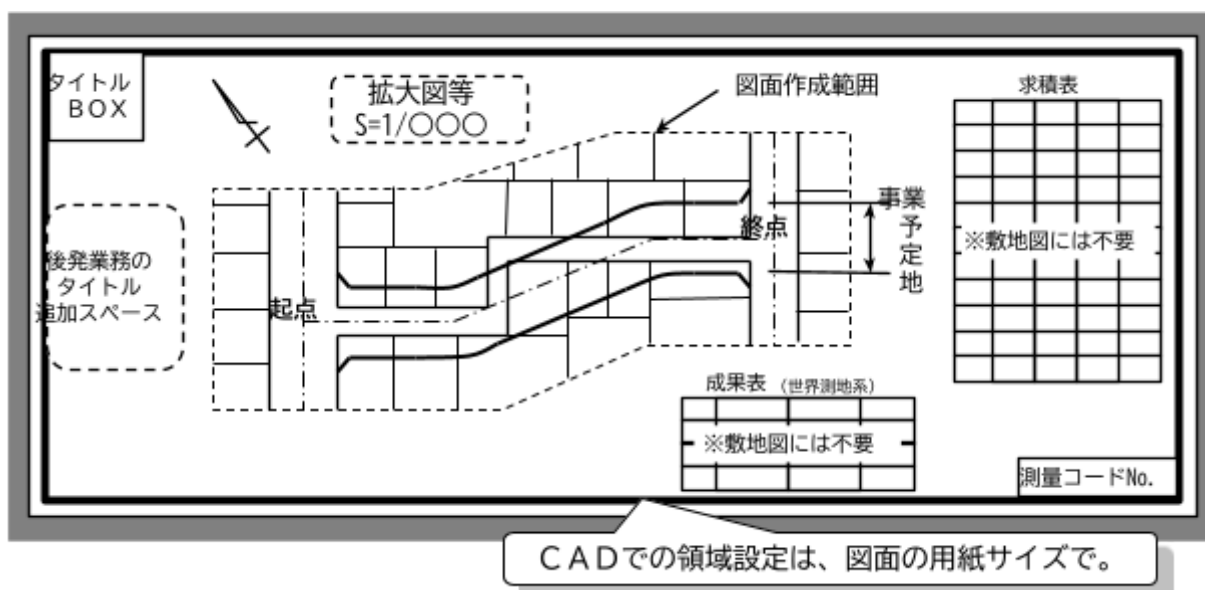


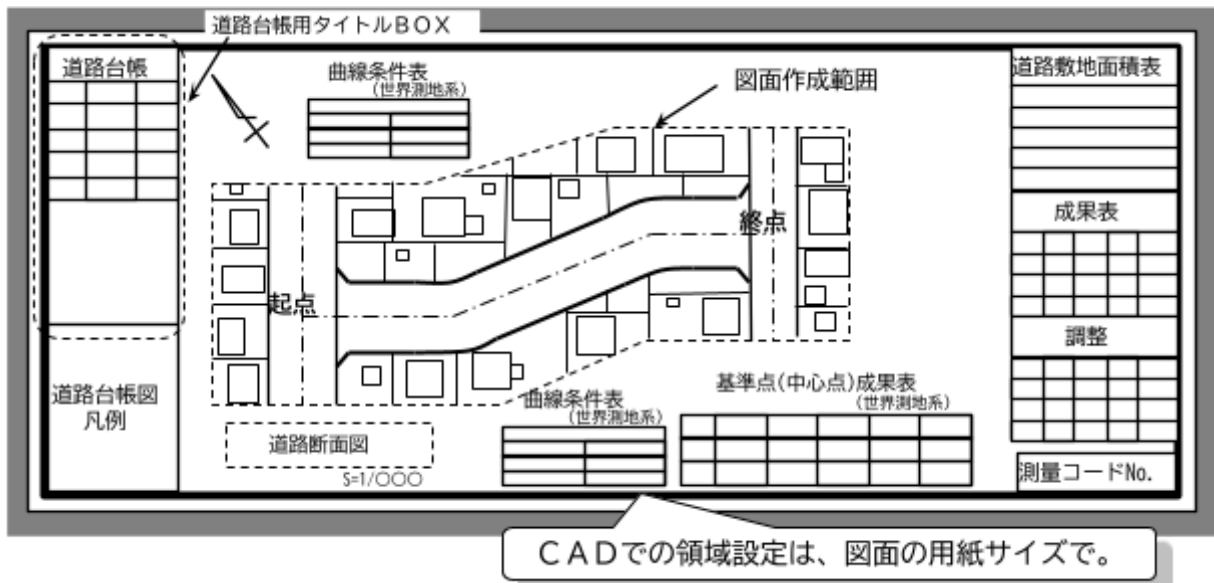
図-5 敷地図・求積図 標準レイアウト



1. 本市の業務で作成する敷地図及び求積図に、下記事項を記載すること。
 - (1) 調査測量（敷地図）の場合
 - ① 既認定道路の区域内に路線名・路線番号・幅員。
 - ② 境界線に記入する辺長は、公図辺長とする。
 - ③ 区界・町界線、及び区名・町名・条・丁目・地番等の情報。
 - ④ 既設境界標（所定の記号で表現すること。）
 - (2) 確定測量（求積図）の場合は、さらに次の事項について描き加えること。
 - ① 事業計画に基づく中心線・用地幅杭線・事業区域界・幅員等。
 - ② 事業計画に基づいて確定された境界点。（所定の記号で表現すること。）
 - ③ 事業計画に基づく潰地の辺長、及び親地番。
 - ④ 確定成果に基づく辺長。
 - ⑤ 設置する境界標の種類を示す記号。
 - ⑥ 確定成果に基づく求積表。
2. 求積表は、所在・地番・地目・地積・潰地積・残地積等について、町名・条・丁目・地番の若い方から記入すること。
 なお、所有者の記入については、担当職員の確認を得ること。

事業・管理・一般

図-7 道路台帳図 標準レイアウト

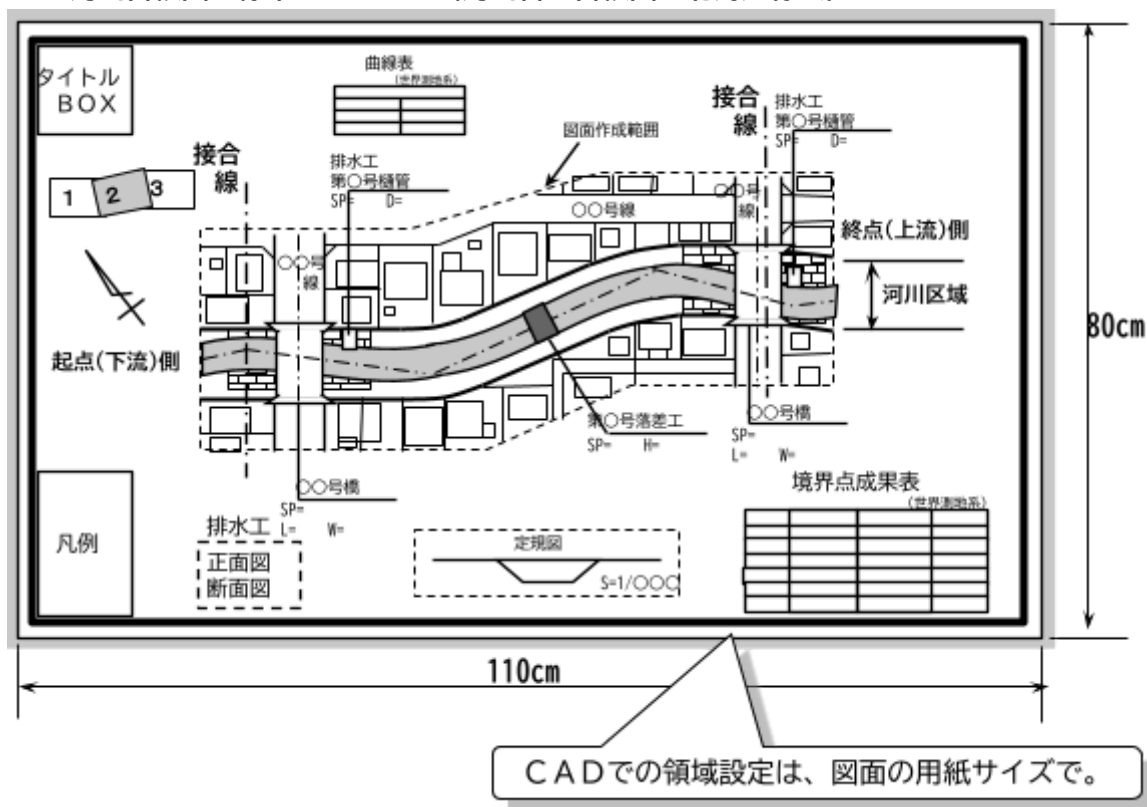


1. 図面の上方を概ね北方向として描画することとするが、道路の屈曲が大きい場合、又は図面が複数枚になる場合は、この限りでない。
2. 凡例は、道路台帳図用の凡例を使用すること。
3. 道路敷地面積表は、所在・所有者・地番・地目・地積・潰地積・残地積等について、路線の起点側から記入すること。
4. 道路構造物又は付属物の形状を調査する必要がある場合は、道路基準線（中心線）における延長、幅員、高さ、断面形状等について観測した結果を記入すること。
ただし、高さ・幅・距離等の測定誤差の許容範囲は1/500以内とし、単位はcmとする。
5. 道路台帳作成要綱及びサンプル図が必要な場合は、担当職員に申し出ること。
6. 図面の仕上りや記載事項について、担当職員及び建設局総務部道路認定課台帳係の確認を得ること。
7. 成果表の右肩に、座標系及び測地系の種別を明記すること。

								ここ！
成果表							座標系：Ⅻ 測地系：世界測地系	
No.	X座標	Y座標	備考	No.	X座標	Y座標	備考	

道路台帳

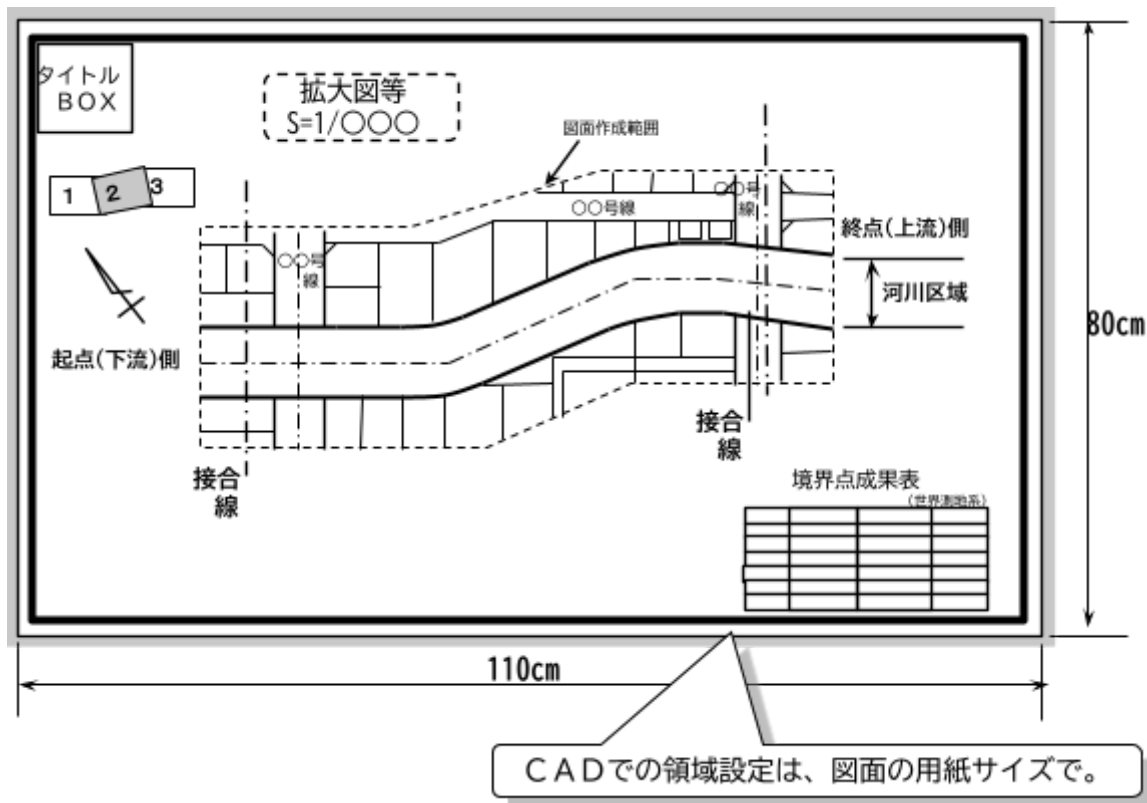
図-8 河川台帳図 標準レイアウト (河川管理台帳図：北海道様式)



1. 北海道様式：河川管理台帳図の記載事項
 - (1) 住所・地番……………すべての土地について記入する。
 - (2) 辺長……………河川区域界の辺長のみ記入する。(河川区域と接していない土地は不要)
 - (3) 所有者名……………河川区域内及び河川区域と接する土地について記入する。
 - (4) 道路・河川名………図中全ての道路及び河川の名称を記入する。
 - (5) 橋梁名……………対象河川に架かる全ての橋梁名を記入する。
 - (6) 定規図……………断面形状が異なるごとに記入する。
 - (7) 落差工・排水工…旗上げ表示のうえ、追加距離・管径・落差等の寸法を記入する。
 - (8) 接合線……………図面が複数枚になる場合は、図割り及び接合線を記入する。
2. 定規図及び落差工・排水工等の詳細図は、関係部局(下水道河川局事業推進部河川事業課または河川管理課)より取得した設計図(竣工図)をもとに描画するものとするが、現地の形状と明らかに異なる場合は、実測をもとに記入すること。
また、詳細図を記入しない場合は、担当職員及び関係部局の指示により、図中にスペースを空けておくものとする。
3. 本様式のサンプル図が必要な場合は、担当職員に申し出ること。
4. 図面の仕上がりについて、担当職員及び関係部局の確認を得ること。

北海道・河川

図-9 河川台帳図 標準レイアウト（用地敷地図：北海道様式）



1. 北海道様式：用地敷地図の記載事項

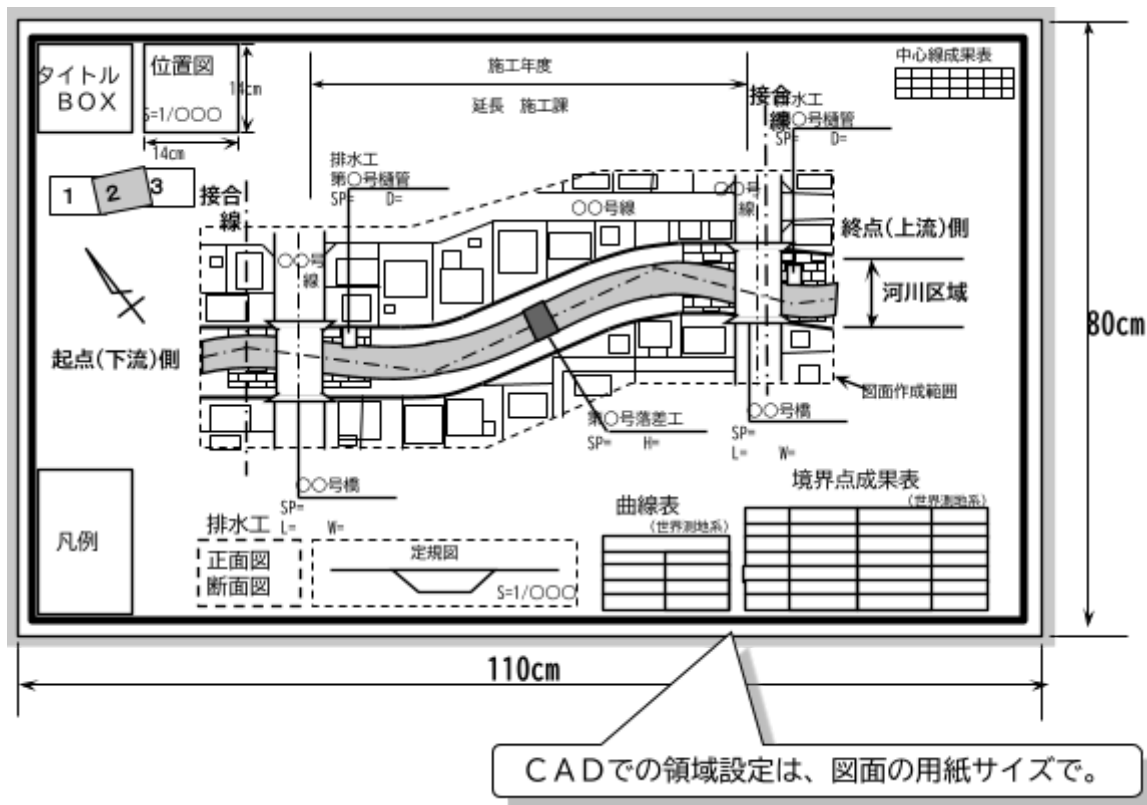
- (1) 住所・地番……すべての土地について記入する。
- (2) 辺長……河川区域界及び河川区域と接する土地の辺長のみ記入する。
- (3) 所有者名……河川区域内及び河川区域と接する土地について記入する。
- (4) 道路・河川名…図中全ての道路及び河川の名称を記入する。
- (5) 接合線……図面が複数枚になる場合は、図割り及び接合線を記入する。

2. 本様式のサンプル図が必要な場合は、担当職員に申し出ること。

3. 図面の仕上がりについて、担当職員及び関係部局（下水道河川局事業推進部河川事業課または河川管理課）の確認を得ること。

北海道・河川

図-10 河川台帳図 標準レイアウト (河川管理台帳図：札幌市様式)



1. 札幌市様式：河川管理台帳図の記載事項

- (1) 住所・地番……すべての土地について記入する。
- (2) 辺長……すべて不要である。
- (3) 所有者名……河川区域と接する土地について記入する。(河川区域内は不要)
- (4) 道路・河川名……図中全ての道路及び河川の名称を記入する。
- (5) 橋梁名……対象河川に架かる全ての橋梁名を旗上げ記入する。
- (6) 定規図……断面形状が異なるごとに記入する。
- (7) 落差工・排水工…旗上げ表示のうえ、追加距離・管径・落差等の寸法を記入する。
- (8) 接合線……図面が複数枚になる場合は、図割り及び接合線を記入する。
- (9) 施工情報……図面上部余白に改修工事の施工年度・施工延長・施工課名を記入する。
- (10) 位置図……図面の余白に1/10000程度の位置図を記入する。(14cm×14cm)
- (11) 占用許可物件……河川管理者において許可した整理番号を記入する。

2. 定規図及び落差工・排水工等の詳細図は、関係部局(下水道河川局事業推進部河川事業課または河川管理課)より取得した設計図(竣工図)をもとに描画するものとするが、現地の形状と明らかに異なる場合は、実測をもとに記入すること。

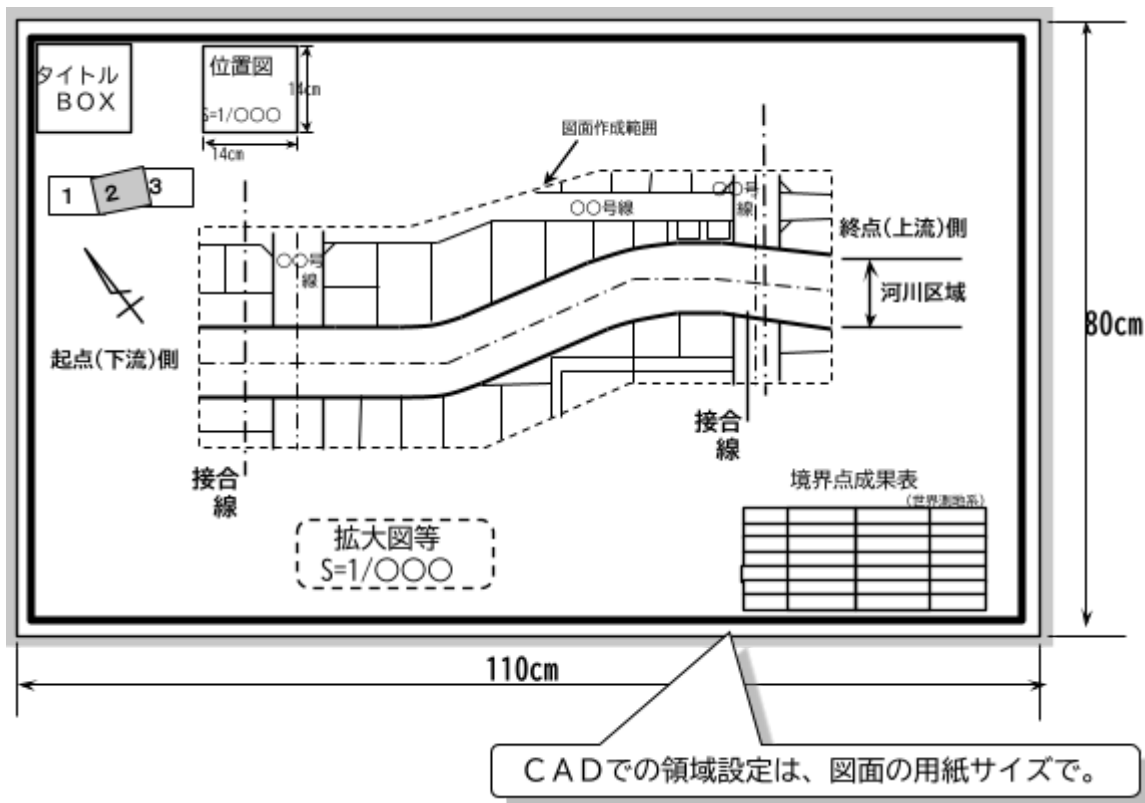
また、詳細図を記入しない場合は、担当職員及び関係部局の指示により、図中にスペースを空けておくものとする。

3. 本様式のサンプル図が必要な場合は、担当職員に申し出ること。

4. 図面の仕上がりについて、担当職員及び関係部局の確認を得ること。

札幌市・河川

図-11 河川台帳図 標準レイアウト (敷地図：札幌市様式)



1. 札幌市様式：敷地図の記載事項

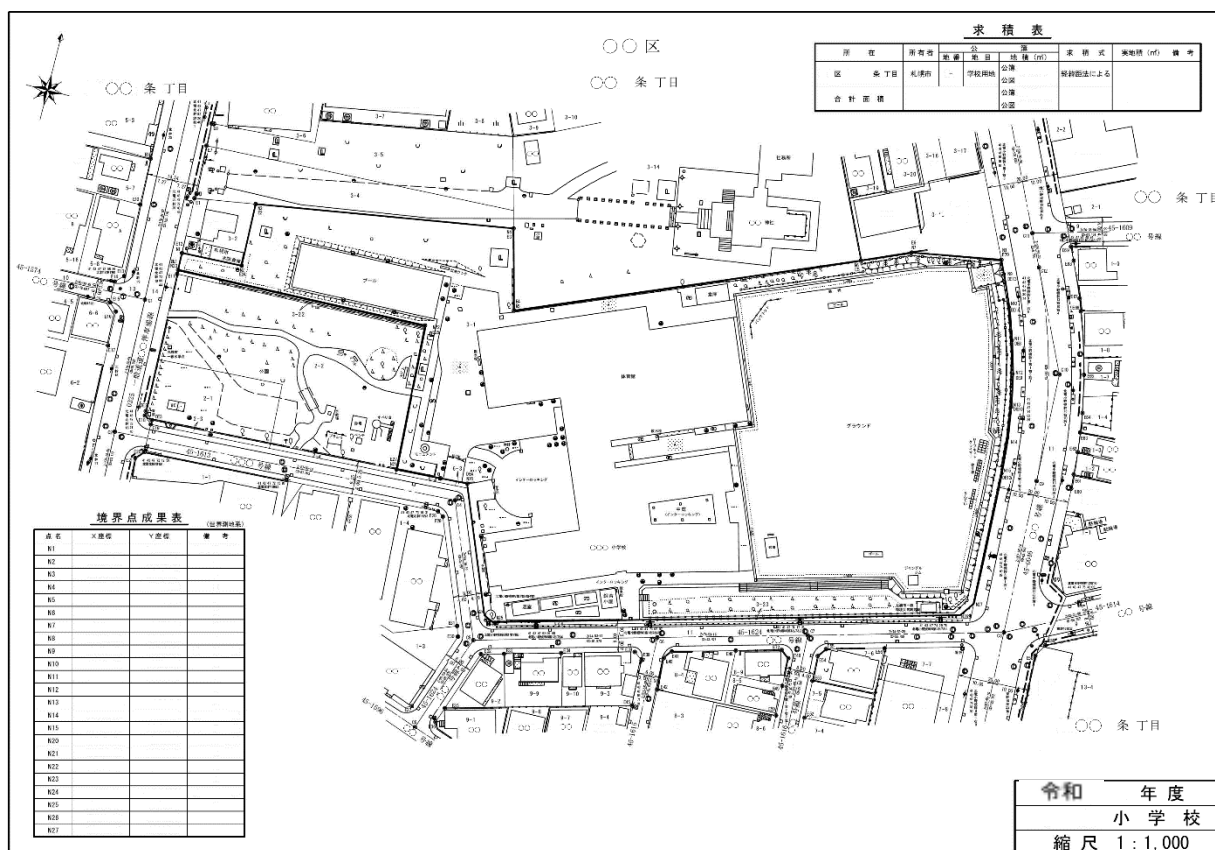
- (1) 住所・地番……すべての土地について記入する。
- (2) 辺長………図中すべての土地について記入する。
- (3) 所有者名………河川区域内及び河川区域と接する土地について記入する。
- (4) 道路・河川名…図中全ての道路及び河川の名称を記入する。
- (5) 接合線………図面が複数枚になる場合は、図割り及び接合線を記入する。
- (6) 位置図………図面の余白に1/10000程度の位置図を記入する。(14cm×14cm)

2. 本様式のサンプル図が必要な場合は、担当職員に申し出ること。

3. 図面の仕上がりについて、担当職員及び関係部局（下水道河川局事業推進部河川事業課または河川管理課）の確認を得ること。

札幌市・河川

図-12 学校管理図 標準レイアウト（現況図）



学校管理図（現況図）の記載事項

1. 用紙サイズは、B4版とする。
2. すべての境界線の辺長は不要である。
3. 学校用地の境界線を黒太線とし、その他の境界線より強調すること。
4. 図面の右上に求積表を記入すること。
5. 図面の余白に境界点成果表を記入し、右肩に測地系の種別を明記すること。
6. 遊具等の名称を記入すること。
7. 樹木は、所定の地図記号で真位置に描画するものとするが、生垣・寄植え等の場合は範囲を示すこと。

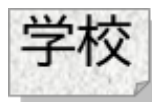
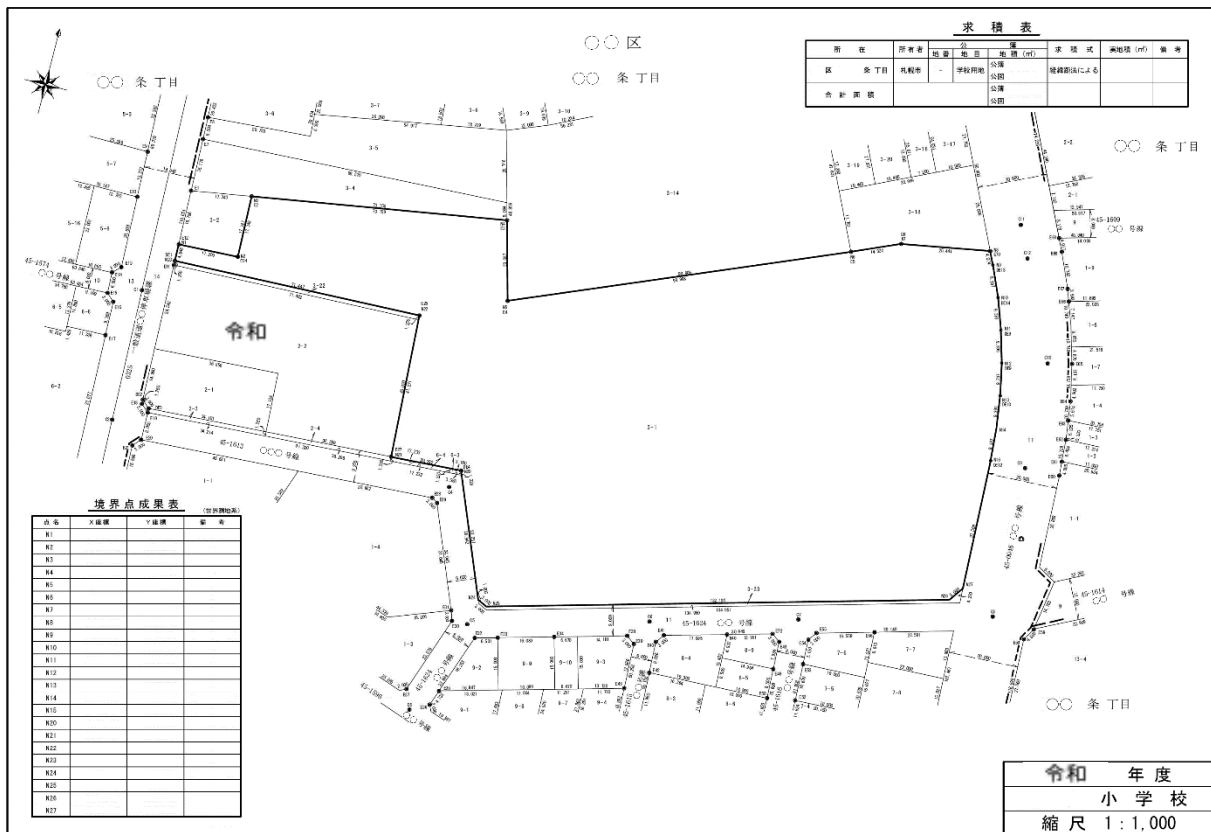


図-13 学校管理図 標準レイアウト(求積図)



学校管理図(求積図)の記載事項

1. 用紙サイズは、B4版とする。
2. 図中すべての境界線の辺長を記入すること。
3. 学校用地の境界線を黒太線とし、その他の境界線より強調すること。
4. 図面の右上に求積表を記入すること。
5. 図面の余白に境界点成果表を記入し、右肩に測地系の種別を明記すること。

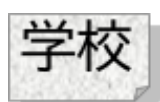
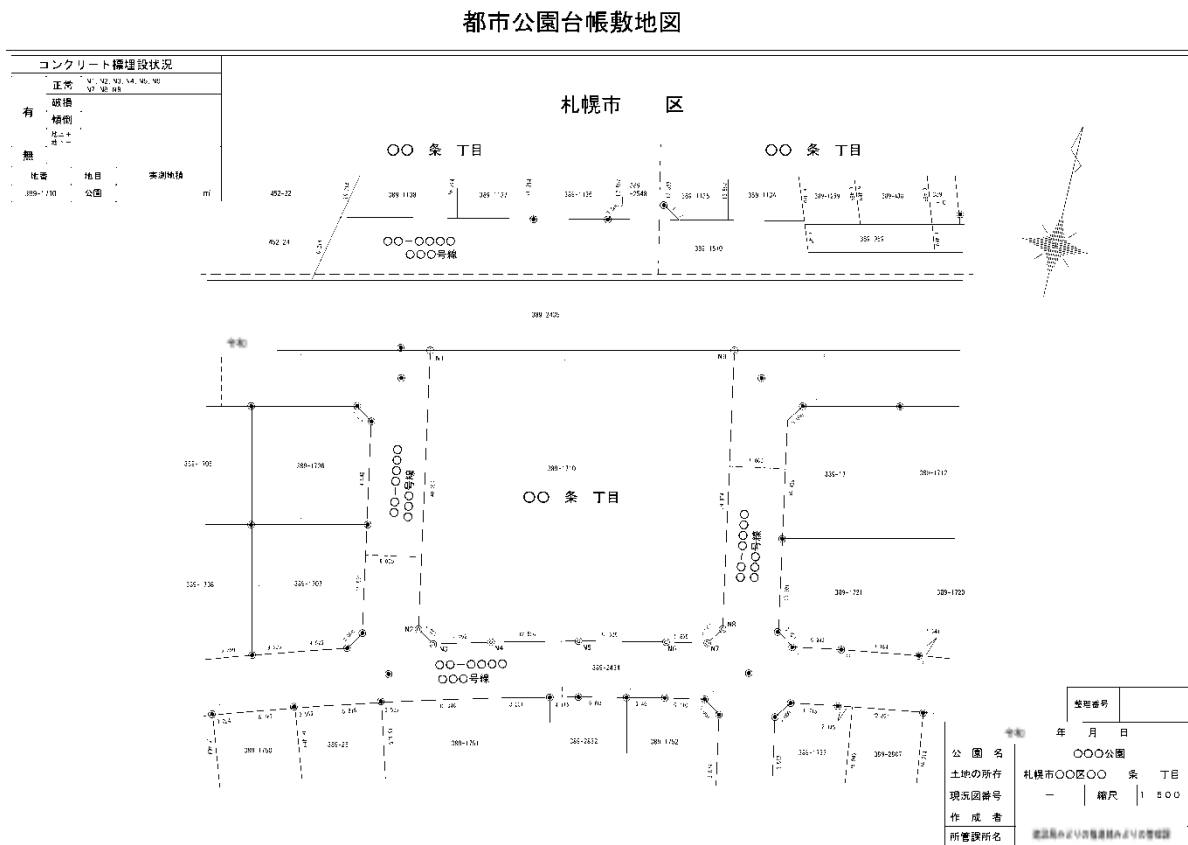


図-14 公園管理図 標準レイアウト(敷地図)



都市公園台帳敷地図の記載事項

1. 用紙サイズは、B4版とする。
2. 図中すべての境界線の辺長を記入すること。
3. 境界標の状態について調べ、埋設状況別に番号を記入すること。
4. 面積は用地測量の結果をもとに記入するものとするが、実測を伴わない場合は、登記されている面積を記入すること。

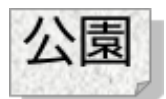
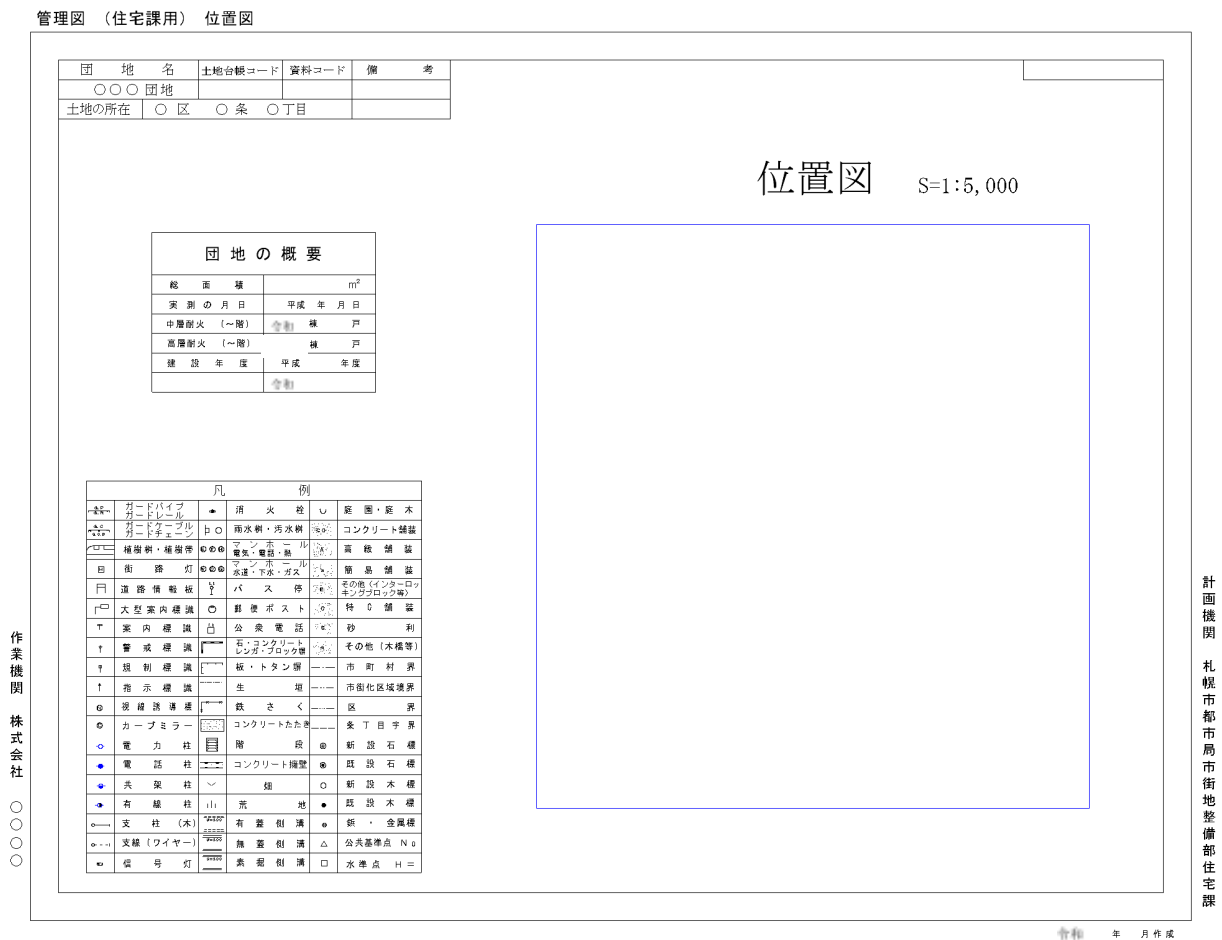


図-15 住宅課 管理図 標準レイアウト (位置図)



住宅管理図 (位置図) の記載事項

1. 用紙サイズは、B3版とする。
2. 位置図は、地図情報レベル5000程度とし、対象地を黒太線で囲むこと。

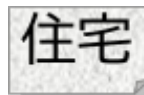
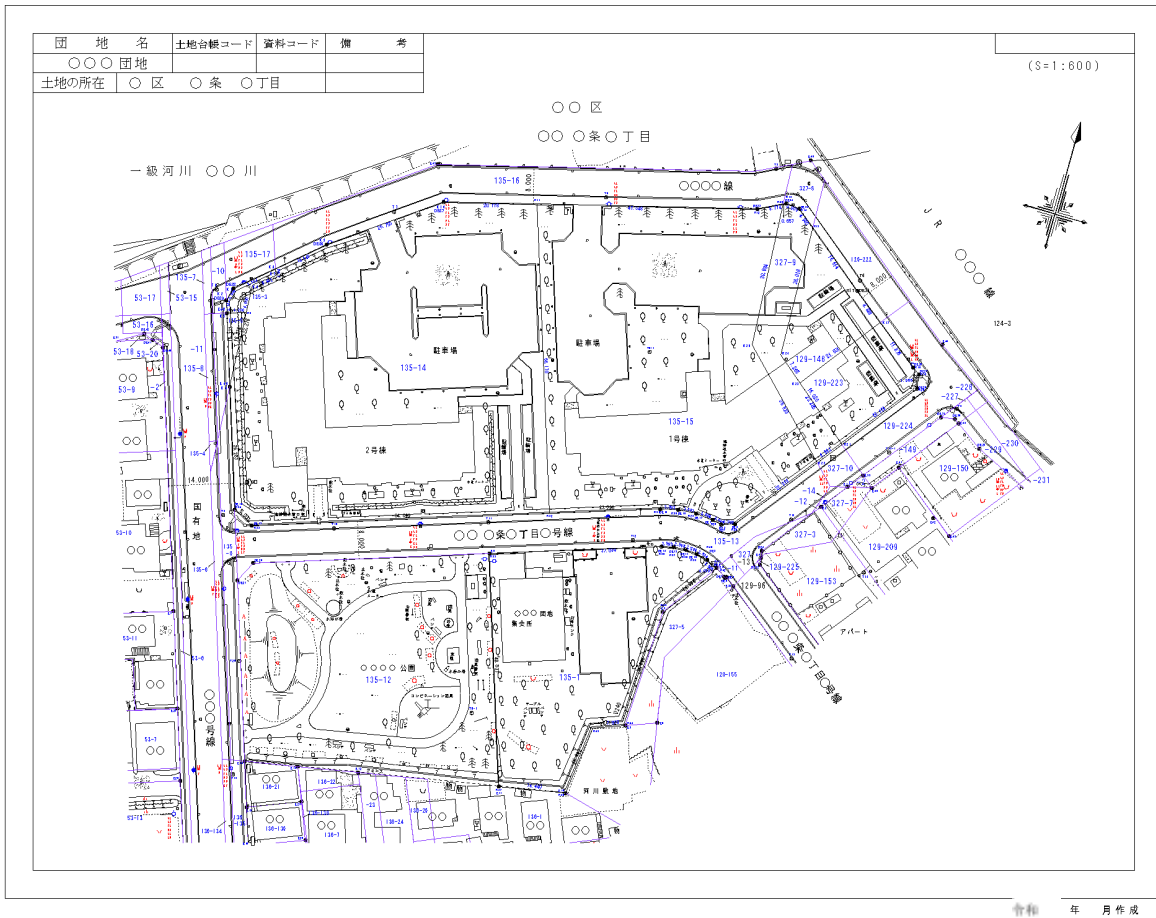


図-16 住宅課 管理図 標準レイアウト (現況平面図)

管理図 (住宅課用) 現況平面図



住宅管理図 (現況平面図) の記載事項

1. 用紙サイズは、B3版とする。
2. 住宅課管理用地の区域界についてのみ辺長を記入すること。
3. 敷地内の遊具、その他の施設の名称を記入すること。
4. 樹木は、所定の地図記号で真位置に描画するものとするが、生垣・寄植え等の場合は範囲を示すこと。

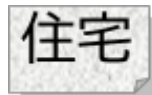
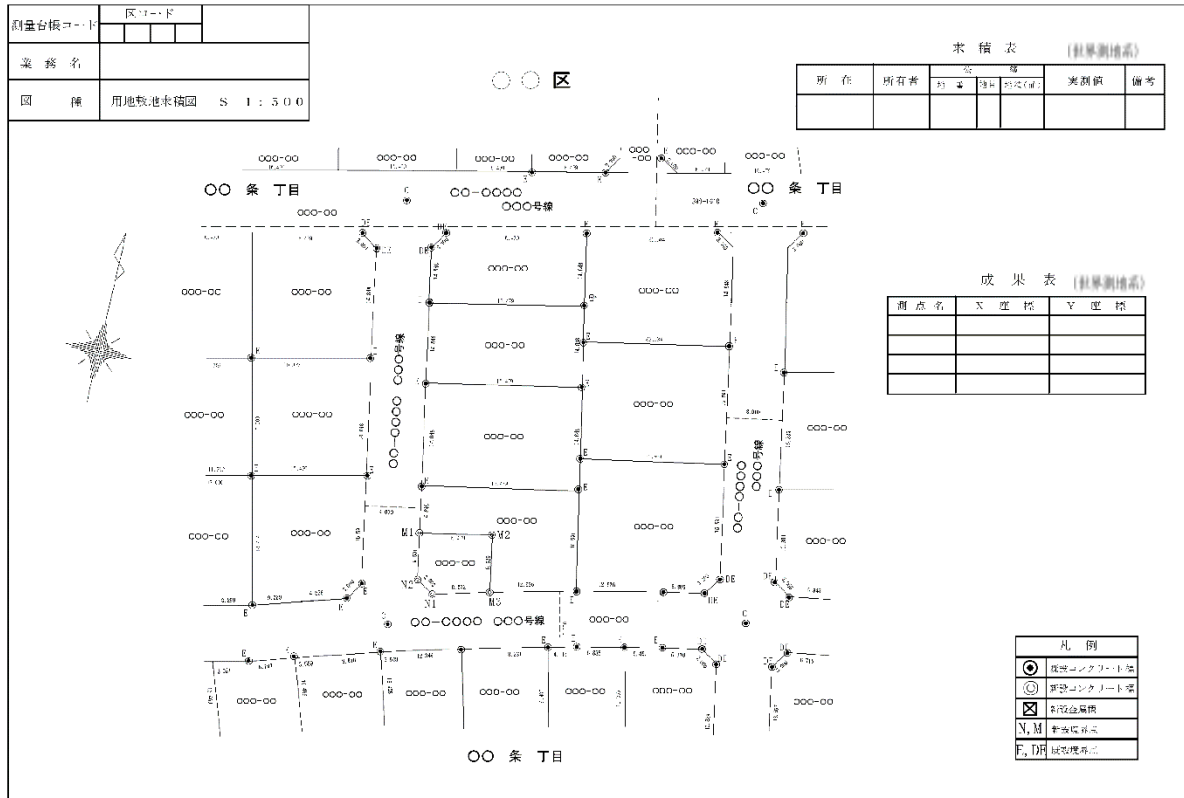


図-19 消防管理図 標準レイアウト（用地敷地求積図）

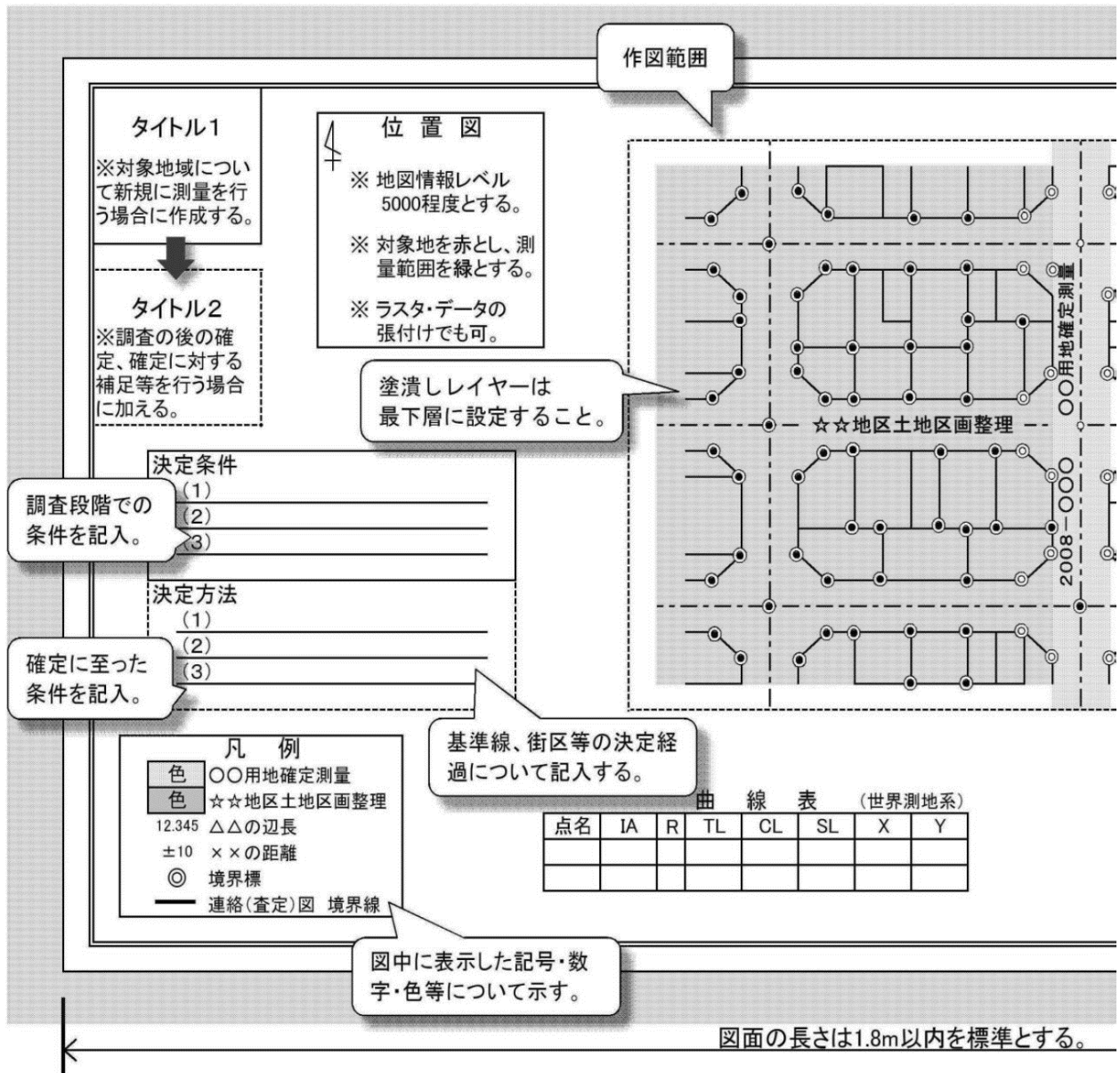


用地敷地求積図の記載事項

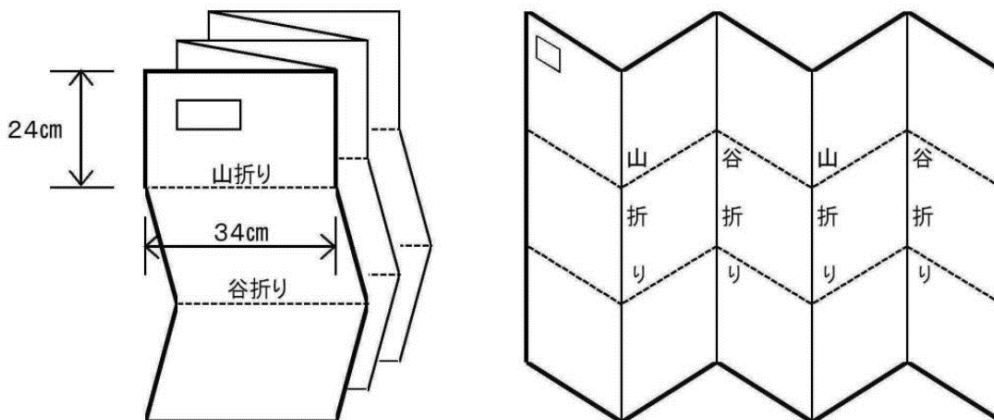
1. 用紙サイズは、B4版とする。
2. 図中すべての境界線の辺長を記入すること。
3. 図面の余白に成果表及び求積表を記入し、右肩に測地系の種別を明記すること。
4. 面積は用地測量の結果をもとに記入するものとするが、実測を伴わない場合は、登記されている面積を記入すること。



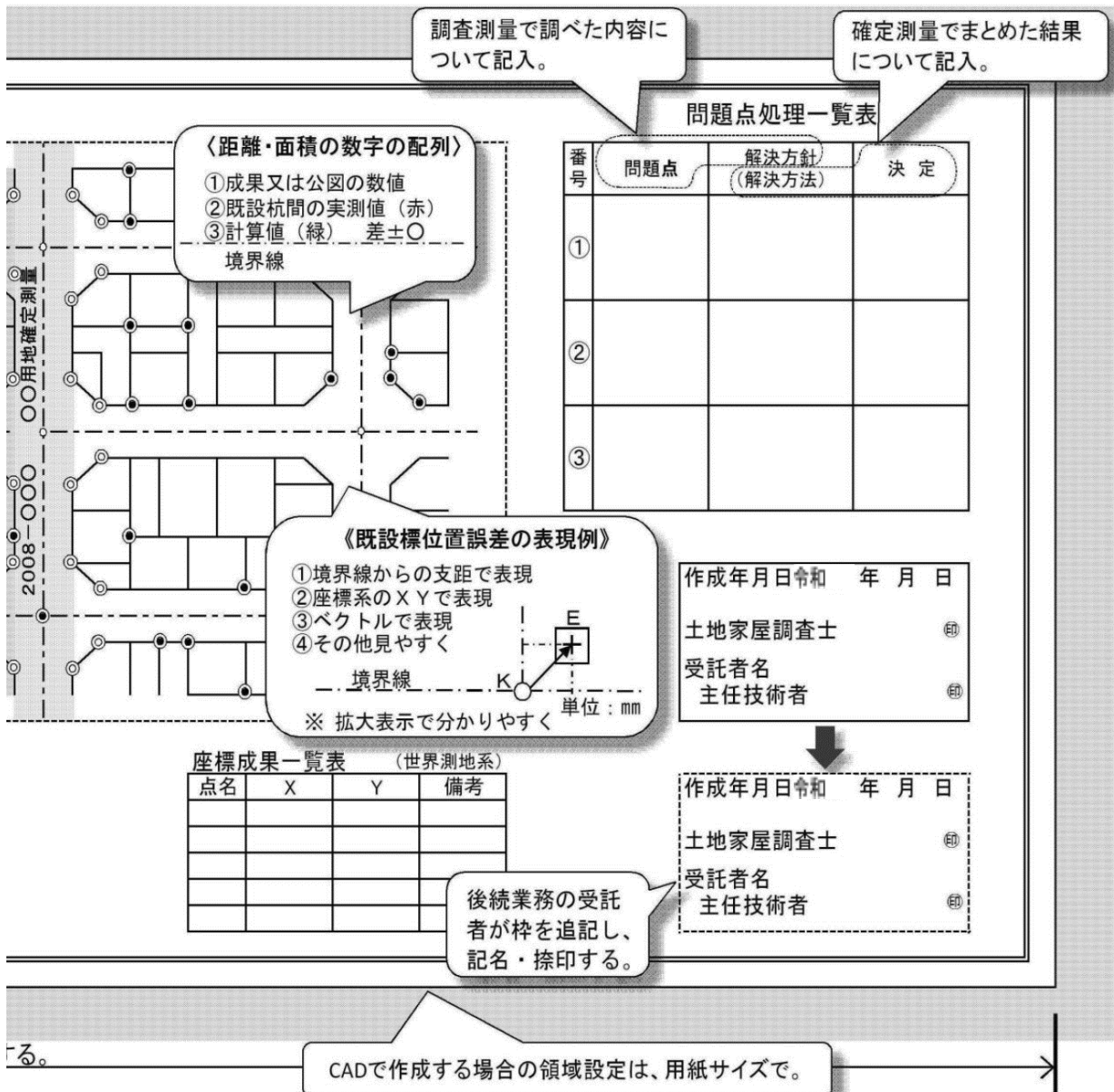
図-20 境界精査図 標準レイアウト



【境界精査図(図面)の折りたたみ方】※ タイトルを表にする。



※ 綴りシロは不要



作図にあたり、各情報の色分を下表のとおり定める。

【線情報色分表】

基 図	基準とした既設杭 設定した基準線	土地連絡図等	事業予定線 (道路・河川等)
黒	緑	オレンジ	任意
実 線	実 線	実 線	点 線

【面情報色分表】

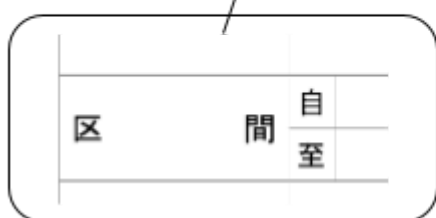
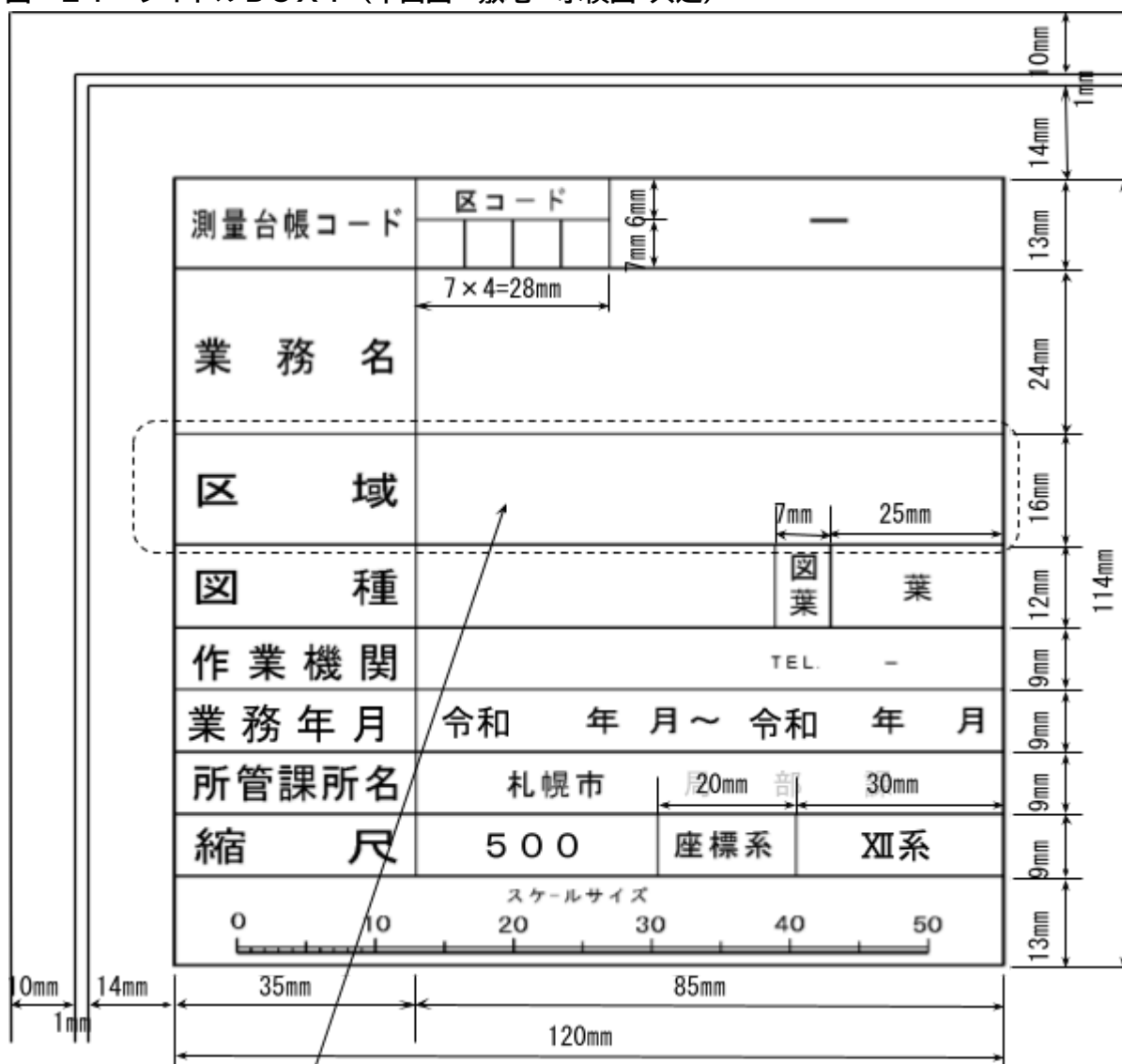
確定地等	重複地	空白地	未処理用地	その他問題箇所
黄	青	ピンク	茶	任意

注: 塗潰し・ハッチング等の面情報は、その他の情報と異なるレイヤーに作成し、最下層に設定すること。

【文字情報色分表】

実測値	計算(調整)値	その他	差
赤	緑	黒	赤・緑

図-21 タイトルBOX1 (平面図・敷地・求積図 共通)



※ 線状構造物並びに長狭地については、「区域」を「区間」とする。

区コード (道路台帳図共通)

区名	コード	区名	コード	区名	コード	区名	コード
道道	00	北区	20	厚別区	45	南区	60
複数区	00	東区	30	豊平区	50	西区	70
中央区	10	白石区	40	清田区	55	手稲区	75

図-22 タイトルBOX2 (後続業務・小規模業務)

【後続業務用 タイトルBOX】

測量台帳コード	区コード	—
業 務 名	(例)	
区 域		
作 業 機 関	TEL —	
業 務 年 月	令和 年 月 ~ 令和 年 月	
所 管 課 所 名	札幌市 局 部 課	

1. タイトルBOXの幅は、図-21と同様とする。
2. 記載事項については、担当職員と協議すること。

【小規模業務用 タイトル (例)】

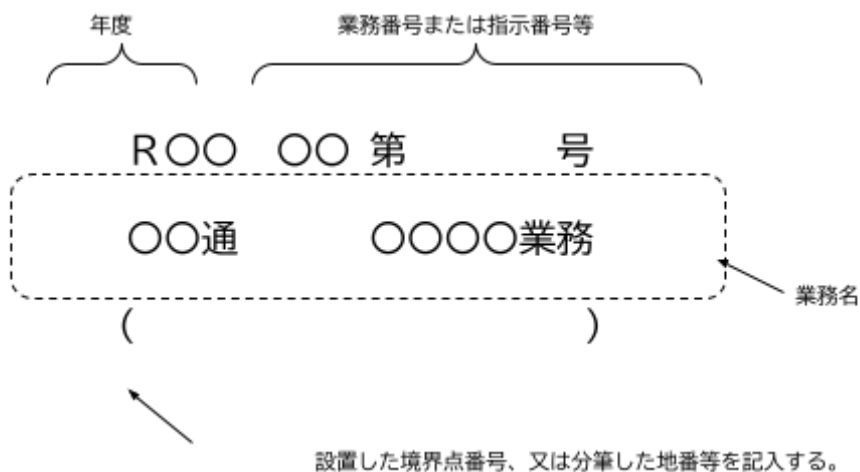


図-23 タイトルBOX3 (道路台帳図)

道 路 台 帳			
整理番号	路 線 名	区 間	
-		自	
		至	
		自	
		至	
		自	
		至	
		自	
		至	
		自	
		至	
測量整理番号	区コード	-	
業 務 名			
区 間	自 至		
図 種		図 葉	葉
作 業 機 関	TEL		
調 査 年 月	令和 年 月 ~ 令和 年 月		
所管課所名	札幌市	局 部	課
縮 尺	500	座 標 系	XII
スケールサイズ			
0 10 20 30 40 50			
120mm			

区コード*

区 名	コ ー ド
道 道	00
複数区	00
中央区	10
北 区	20
東 区	30
白石区	40
厚別区	45
豊平区	50
清田区	55
南 区	60
西 区	70
手稲区	75

※ 面的な台帳整備測量の場合は、「地区」に変えて表示することができる。

図-24 タイトルBOX4 (河川台帳図)

【北海道様式】

年度	令和 年度		
河川名	川水系 川		
工事名			
図面名		縮尺	1 : 500
図面番号	総番号	種別番号	
	全葉の内号	全葉の内号	
測量年月	令和 年 月		
測量者名			
北海道空知総合振興局札幌建設管理部			

95mm

資料図	
-----	--

100mm





【札幌市様式】

整理番号	区コード	—	
年度	令和 年度		
河川名	川水系 川		
図面名		縮尺	1 : 500
図面番号	総番号	種別番号	
	全様の内号	全様の内号	
測量年月	令和 年 月		
測量者			
札幌市下水道河川局事業推進部			

75mm

110mm

図-25 凡例(平面図・河川台帳図 共通)

凡 例					
	ガードパイプ ガードレール	フ・2 フ・2	ブロック2階 プレハブ2階		インターロッキング
	ガードチェーン		車庫・物置		砂 利
	植樹樹・植樹帯		倉 庫		河 川
	照 明 灯		工 場		制・止 水 弁
	防 犯 灯		材 料 置 き 場		市 界
	配 電 柱		石・コンクリート・レンガ ブロック・土ヘイ		市街化区域境界
	電 話 柱		板・トタンヘイ		区 界
	共 架 柱		生 垣		大 字 ・ 町 界
	信 号 灯		鉄 さ く		丁 目 界
	コンクリート側溝		コンクリートたたき		新 設 石 標
	素 堀 側 溝		階 段		既 設 石 標
	横 断 管		ブロック積(張)		新 設 木 標
	消 火 栓		石 積(張)		既 設 木 標
	雨水樹・汚水樹		コンクリート擁壁		新 設 金 属 鈹
	マンホール 共同溝・電気・電話・熱		畑		既 設 金 属 鈹
	マンホール 水道・下水・ガス		荒 地		公 共 基 準 点 No.
	バ ス 停		花 壇		三 角 点
	郵 便 ポ ス ト		園 庭 ・ 庭 木		水 準 点
	電 話 ボ ッ ク ス		独立樹(広葉・針葉)		水 道 管
	建 物		芝 地		ガ ス 管
	堅 ろ う 建 物		広 葉 樹 林		電 々 ケ ー ブ ル
	無 塀 舎		針 葉 樹 林		下 水 道
	モ ル タ ル 2 階 鉄 筋 2 階		舗 装		

120mm

図-26 凡例(道路台帳図)

凡 例					
◎	札幌市石標	〒	道路標識 案内		人工斜面
⊙	石 標	↑	道路標識 警戒		歩 道
⊠	金 属 標	↑	道路標識 規制		植樹柵・植樹帯
○	プラスチック杭	↑	道路標識 指示		段 差 切 下
⊗	鋳	Ⓝ	視線誘導標		雨 水 柵
	コンクリート被覆	◎	カーブミラー		点字ブロック
	ブロック被覆	○	電 力 柱		セメント コンクリート舗装
	へ い	●	電 話 柱		高級舗装
	鉄 さ く	○	共 架 柱		簡易舗装
	防護柵(ケーブル)	●	有 線 柱		その他(インターロッキングブロック等)
	防護柵(パイプ)	○	支柱(木・コンクリート)		特 C 舗 装
	防護柵(レール)	○	支線(ワイヤー)		砂 利
	防護柵(チェーン)		バ ス 停		石
	有 蓋 側 溝		信 号 灯		木
	無 蓋 側 溝		消火栓 立型		起 点
	素 掘 側 溝		郵便ポスト		終 点
	照 明 灯		電話ボックス	----	市 町 村 界
	防 犯 灯		マンホール 電気・電話・熱	----	区 界
	道 路 情 報 板		マンホール 水道・下水・ガス	----	条 丁 目 字 界
	道 路 情 報 版 (大 型)		マンホール 共同溝・防火水槽・未分類	----	市 街 化 区 域 境 界
	道 路 標 識 案 内 (大 型)		交 通 量 観 測 所		公 共 基 準 点 No.

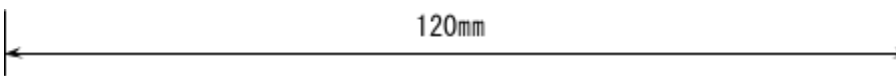
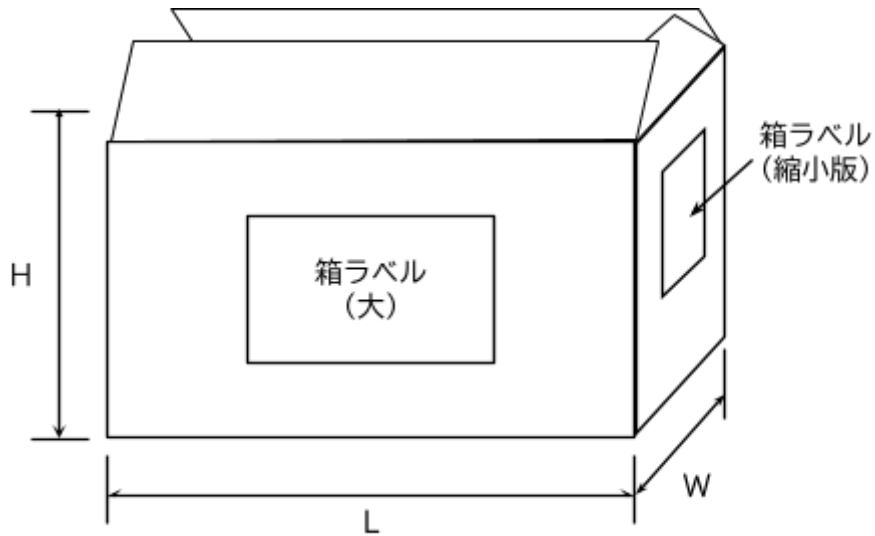


図-27 測量成果物を納める文書整理箱のラベル

文書整理箱ラベル



※ 寸法(H・L・W)については、A3ファイル及び図面が無理なく収まるサイズであること。

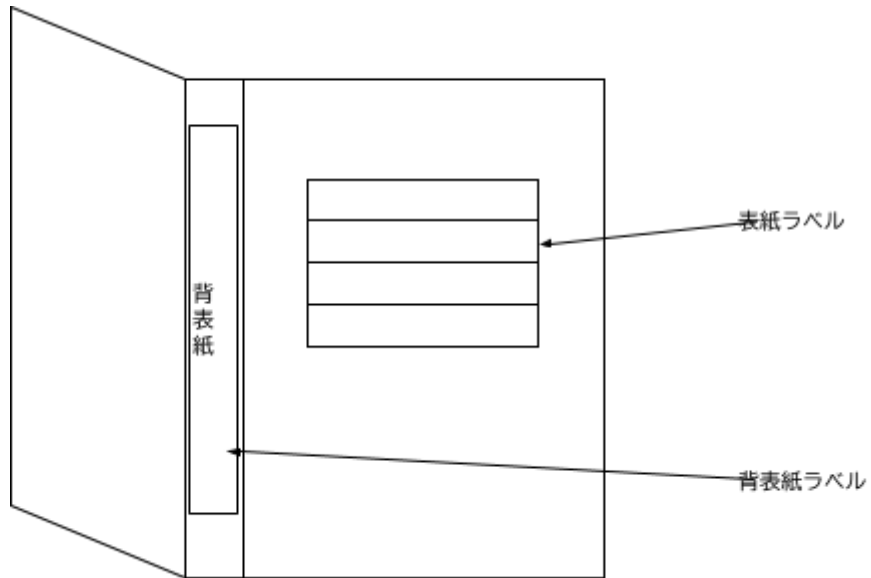
箱ラベル (大)

※ 縮小版も同様とする。

測量台帳コード	※ 担当職員に確認すること
測量実施箇所	※ 上段：区コード ※ 下段：地区名又は路線名
測量作業機関名	※ 名称等を記入
道路台帳コード	
業 務 名	
備考 (測量成果品目録)	

図-28 測量成果物を綴る文書ファイルのラベル

文書ファイルのラベル

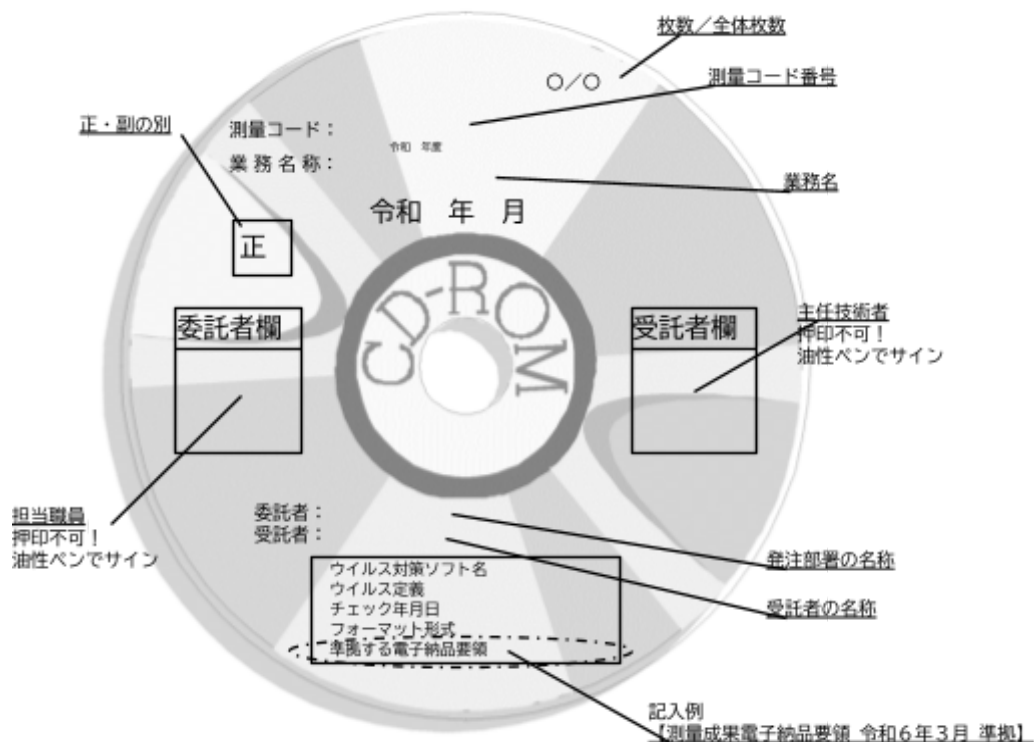


表紙ラベル

令和 年度	
業務名	(測量コード番号)
ファイル名	(例)
計画機関	
作業機関	

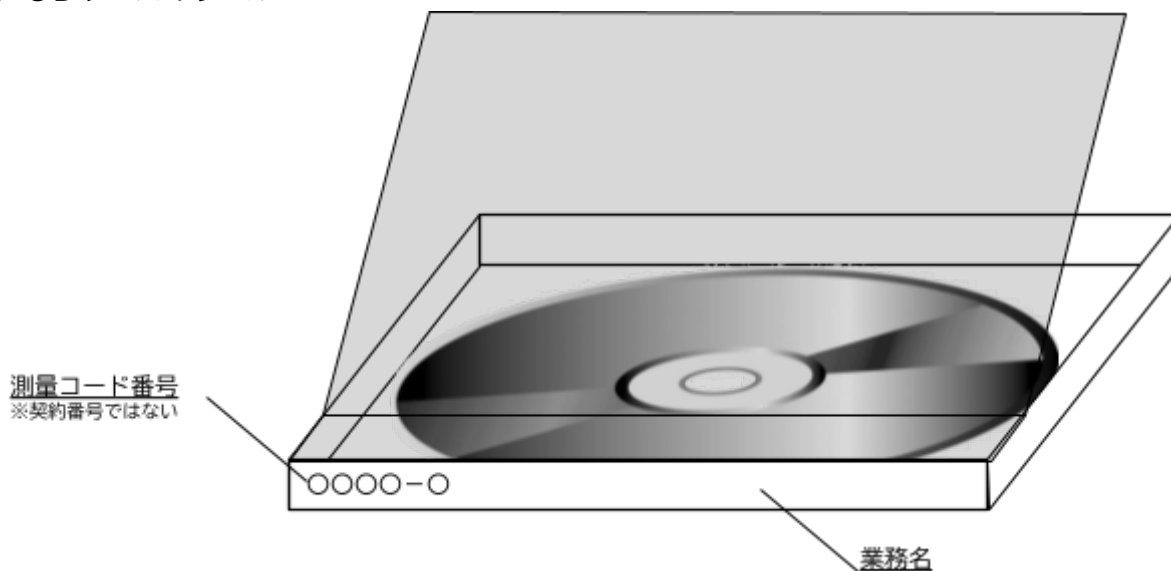
図-29 測量成果物を格納する電子記録媒体のラベル

1. CD-R表面の表示方法



- 注1 CD-Rにサインする場合は、表面（記録面）を傷めないよう注意すること。
- 注2 シール等の貼り付けは禁止とする。

2. CDケースのラベル



※ CD-Rを保護できるハードケースであれば、薄型ケースでもよい。

様式集


様式1 建標承諾書

<h2 style="margin: 0;">建 標 承 諾 書</h2>					
(あて先) 札幌市長	令和 年 月 日				
所有者 住所					
氏名					
基準点 水準点 の名称及び番号					
<table border="1" style="margin: auto;"><thead><tr><th style="width: 50%;">名 称</th><th style="width: 50%;">標識番号</th></tr></thead><tbody><tr><td style="height: 40px;"></td><td></td></tr></tbody></table>		名 称	標識番号		
名 称	標識番号				
<table border="1" style="margin: auto;"><thead><tr><th style="width: 70%;">所 在 地</th><th style="width: 30%;">地 目</th></tr></thead><tbody><tr><td style="height: 40px; text-align: center;">区</td><td></td></tr></tbody></table>		所 在 地	地 目	区	
所 在 地	地 目				
区					
上記所有地内に、札幌市〇〇点の標識を設置することを承諾する。					
注：この標識は、市で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり破損したりしないよう御注意願います。 また、人為的に移動、破損のおそれがある時は、市〇〇局〇〇部〇〇課へ御連絡願います。					

※1 A4版（縦長）とする。

※2 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

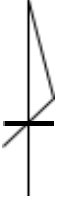
様式2 札幌市公共基準点 成果表及び点の記

札幌市 公共基準点 測地成果2011 成果表及び点の記			
点 名		()	1/5,000図面番号
			世界測地系 点の型式
所在地		地 目	
所有者			
<u>成 果 表</u>			
座 標 系 (XII)		X = - m	
B = ° ' "		縮尺係数 Y = - .	
L =		= H = - .	
『ジオイド・モデル2011 ver2.1』		ジオイド高 =	
視 準 点 名	方 向 角	球 面 距 離	備 考
真北方向角	° ' "	m	
<u>点 の 記</u>			
		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> (写 真) </div>	
選 点	令和 年 月 日	選 点 者	
埋 標	令和 年 月 日	埋 標 者	
観 測	令和 年 月 日	観 測 者	

様式3 基準点 成果表及び点の記 (TS等)

地図整備「図根点」の場合は、
『図根点成果表及び点の記』とする。

基準点成果表及び点の記

点 名		1/50,000図面番号		点の型式	
所在地		地 目			
所有者					
成 果 表					
測地系 : 世界測地系				X = - . _____ m	
平面直角座標系 : XII系				Y = - . _____	
B = _____		縮尺係数 = _____		H = - . _____	
L = _____		ジオイド高 _____			
				柱石長 _____	
視 準 点 名	方 向 角		距 離	備 考	
	+ ° ' "		m		
<p>N 要 図 (縮尺 : 1/)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">  <p>根点) の場合は 『近景写真』を添付</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>根点) の場合は 『遠景写真』を添付</p> </div> </div>					
選 点	令和	年	月	日	選 点 者
設 置	令和	年	月	日	設 置 者
観 測	令和	年	月	日	観 測 者
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者


※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式は、TS等による測量で、基準点(永久標識)を設置した場合に適用する。

※3 本様式は、地図整備事業で「図根点」を設置する場合に準用する。

様式4 基準点 成果表及び点の記 (GNSS)

地図整備「図根点」の場合は、『図根点成果表及び点の記』とする。


基準点成果表及び点の記															
点 名		1/50,000図面番号		点の型式											
所在地		地 目													
所有者															
<p>— 成 果 表 —</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">測地系 : 世界測地系</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">X = - .</td> </tr> <tr> <td>平面直角座標系 : XII系</td> <td style="text-align: right;">Y = - .</td> </tr> <tr> <td>B =</td> <td style="text-align: right;">H = - .</td> </tr> <tr> <td>L =</td> <td style="text-align: right;">ジオイド高</td> </tr> <tr> <td>縮尺係数 =</td> <td style="text-align: right;">柱石長</td> </tr> </table>						測地系 : 世界測地系	X = - .	平面直角座標系 : XII系	Y = - .	B =	H = - .	L =	ジオイド高	縮尺係数 =	柱石長
測地系 : 世界測地系	X = - .														
平面直角座標系 : XII系	Y = - .														
B =	H = - .														
L =	ジオイド高														
縮尺係数 =	柱石長														
視 準 点 名	方 向 角	距 離	備 考												
	+ ° ' "	m	アンテナ高 m												
<p>N 要 図 (縮尺 : 1/)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>「根点」の場合は 『近景写真』を添付</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「根点」の場合は 『遠景写真』を添付</p> </div> </div>															
選 点	令和 年 月 日	選 点 者													
設 置	令和 年 月 日	設 置 者													
観 測	令和 年 月 日	観 測 者													
改 埋	令和 年 月 日	改 埋 者													
改 埋	令和 年 月 日	改 埋 者													

※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式は、GNSS測量で、基準点(永久標識)を設置した場合に適用する。

※3 本様式は、地図整備事業で「図根点」を設置する場合に準用する。

様式5 水準点の記

水準点の記			
標識番号	第 号	1/50,000 図面番号	
所在地			地目
所有者			
標識の種類	石 標 ・ 金属標	埋設法	地上(保護石 個)・地下
選 点	令和 年 月 日	選点者	
設 置	令和 年 月 日	設置者	
観 測	令和 年 月 日	観測者	
旧 埋 設			
周辺の目標			
そ の 他	測地系 (世界・日本) 座標系 (XII) X= Y=		
隣接点との距離	(: km) (: km) (: km)		
備 考			
N 要 図 (縮尺: 1/) 			

※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式は、水準測量で、水準点(永久標識)を設置した場合に適用する。

※3 本様式は、路線測量で、仮BMを設置した場合に準用する。

様式6 公共基準点使用承認申請書

課長	係長	係

本件承認してよろしいか

公共基準点 使用承認申請書

年 月 日

(あて先) 札幌市長

住 所 _____

委託者 機関名 _____

代表者 _____

電 話 () _____

公共基準点の使用について下記のとおり申請します。

使用責任者	会社名： 氏 名： 電 話： E-mail：	FAX：	(土地家屋調査士，測量士・補)
使用目的	委託先担当者 ()		
使用期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日間)		
使用する公共基準点の標識番号及び名称	No. _____	No. _____	No. _____
	No. _____	No. _____	No. _____
使用点数	計 点		受 付 印

様式7 公共基準点使用承認書

承認番号		号	
(申請者)		年	月
様		日	
札幌市長			
公共基準点 使用承認書			
公共基準点の使用を下記のとおり承認します。			
使用責任者	会社名：		
	氏 名：	(土地家屋調査士、測量士・補)	
	電 話：	FAX：	
	E-mail：		
使用目的	委託先担当者 ()		
使用期間	年	月	日 (日間)
使用する公共基準点の標識番号及び名称	No. _____	No. _____	No. _____
	No. _____	No. _____	No. _____
使用点数	計 点		
使用条件			
<p>1 設置箇所への立入 公共基準点の使用にあたり、特に学校・社寺及び民地等に設置してある点については、あらかじめ使用者から土地の所有者（管理者を含む）へ作業計画を伝え、事前に了解を得てから立ち入ること。</p> <p>2 使用承認書の携行 本承認に基づく測量作業中は、本承認書を必ず携行すること。</p> <p>3 保全 公共基準点保護蓋の着脱等取扱いについては破損の無いよう注意し、周辺を汚さぬよう作業すること。また、使用後は必ず施錠すること。</p> <p>4 報告書の提出 本承認に基づく測量作業終了後、直ちに「公共基準点使用（利用）報告書」を提出すること。</p> <p>5 疑義の協議 公共基準点の使用に際し、疑問等がある時は、(建) 測量課と協議すること。</p>			

様式8 公共基準点使用通知書

	事務連絡 年 月 日								
区 土木部	様								
	建設局土木部測量課長								
<p>公共基準点 使用（利用）通知書</p> <p>下記の公共基準点において、測量作業が実施される予定がありますので、通知いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p>									
使用(利用)責任者	会社名： 氏 名： (土地家屋調査士，測量士・補) 電 話： FAX： E-mail：								
承認番号 (契約番号)	号								
使用(利用)期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)								
使用(利用)する 公共基準点の標 識番号及び名称	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> <td style="width: 25%; text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">No.</td> </tr> </table>	No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.
No.	No.	No.	No.						
No.	No.	No.	No.						
記 事									

※1 本様式は、公共基準点の使用又は利用に適用する。

様式9 公共基準点使用報告書

課長	係長	係

<p>公共基準点 使用（利用）報告書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>（あて先）札幌市長</p> <p style="text-align: right;">住 所 _____</p> <p style="text-align: right;">委託者 機関名 _____</p> <p style="text-align: right;">(又は利用者名) _____</p> <p style="text-align: right;">代表者 _____</p> <p style="text-align: right;">電 話 () _____</p> <p style="text-align: center;">公共基準点の使用（利用）結果について下記のとおり報告します。</p>										
使用(利用)責任者	会社名： 氏 名： 電 話： E-mail：	FAX： (土地家屋調査士，測量士・補)								
使用(利用)目的										
使用(利用)期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日間)									
公共基準点の標識番号及び名称	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="width: 25%; border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">No.</td> </tr> </table>		No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.
No.	No.	No.	No.							
No.	No.	No.	No.							
使用(利用)点数	計 点									
使用承認年月日及び承認番号	令和 年 月 日 (承認番号 号)									
結 果 (精 度)	標識番号（経路別）	精 度 ^注								
	No. ~ No.	1 :								
	No. ~ No.	1 :								
	No. ~ No.	1 :								
	No. ~ No.	1 :								
	No. ~ No.	1 :								
特記事項	（不使用点、故障点、異常点、地表面からの凹凸の状況を記載）	受 付 印 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>								
※1 精度の分母は、路線長（m）を閉合差（m）で割った値とする。 なお、精度が算出できない場合は、精度なしと記載する。 ※2 経路図及び使用結果（精度）が分かる資料（点検計算書、精度管理表、精度管理図等）を添付すること。										

様式10 街区基準点使用承認申請書

街区基準点使用承認申請書		令和 年 月 日
(あて先) 札幌市長		
委託者 住 所 名 称 氏 名		
街区基準点管理保全要綱第4条第1項の規定により札幌市街区基準点等の使用について、下記のとおり申請します。		
使用目的		
使用期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
測量地域		
使用する街区基準点等	計 点	
測量計画機関	名 称	
	代表者氏名	
	所 在 地	TEL
測量作業機関	名 称	
	担当者氏名	
	所 在 地	TEL
備 考	注1 本件申請書は、2部提出してください。 2 使用する街区基準点等の配置図を添付してください。	

委託者 住 所
名 称
氏 名

上記の札幌市街区基準点については、使用条件を附して承認します。

札 幌 市 長

街区基準点使用条件

承 認 印

- 1 街区基準点の使用にあたっては、作業者は立入る施設の管理者にあらかじめ計画機関名、作業機関名、作業目的、連絡先などを連絡し、立ち入りの承諾を得ること。
- 2 施設内の立ち入りは、日曜祭日を除く午前9時から午後5時までを原則とする。ただし、管理者から指定された場合はそれに従うこと。
- 3 街区基準点の使用時は使用承認書を常時携帯すること。
- 4 使用にあたっては街区基準点の取り扱いに留意し保全に努めるとともに、周辺を汚さないよう努めること。
- 5 基準点本体及び立ち入り施設に損害を与えた場合は、原形復旧すること。
- 6 委託者は、測量標及びその周辺の現況や、測量付近に工事の予定がある場合は速やかに(建)測量課に連絡すること。
- 7 委託者は、街区基準点の使用を完了したときは、街区基準点使用報告書(様式第2号)を(建)測量課に提出すること。

様式11 街区基準点使用報告書

街区基準点使用報告書		
令和 年 月 日		
(あて先) 札幌市長		
委託者 住所 名称 氏名 担当者		
街区基準点管理保全要綱第4条第1項の規定により街区基準点等の使用結果を下記のとおり報告します。		
使用目的		
使用期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
測量地域		
使用した街区基準点等	計 点	
使用承認年月日及び番号	令和 年 月 日 札幌測承認第 号	
測量作業機関	名 称	
	担 当 者	
	所 在 地	TEL
使用結果 (精度)	No. ~ No. 相対精度1: No. ~ No. 相対精度1: No. ~ No. 相対精度1: No. ~ No. 相対精度1:	
特 記 事 項	(不使用点、故障点、異常点、歩道面からの凹凸の状況を記載)	

- ※1 精度の分母は、路線長 (m) を閉合差 (m) で割った値とする。なお、精度が算出できない場合は、精度なしと記載する。
- ※2 経路図及び使用結果 (精度) が分かる資料 (点検計算書、精度管理表、精度管理図等) を添付すること。

様式12 位置図

※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 測量範囲を黒網掛け、当該地を黒太線又は黒塗りつぶしとする。

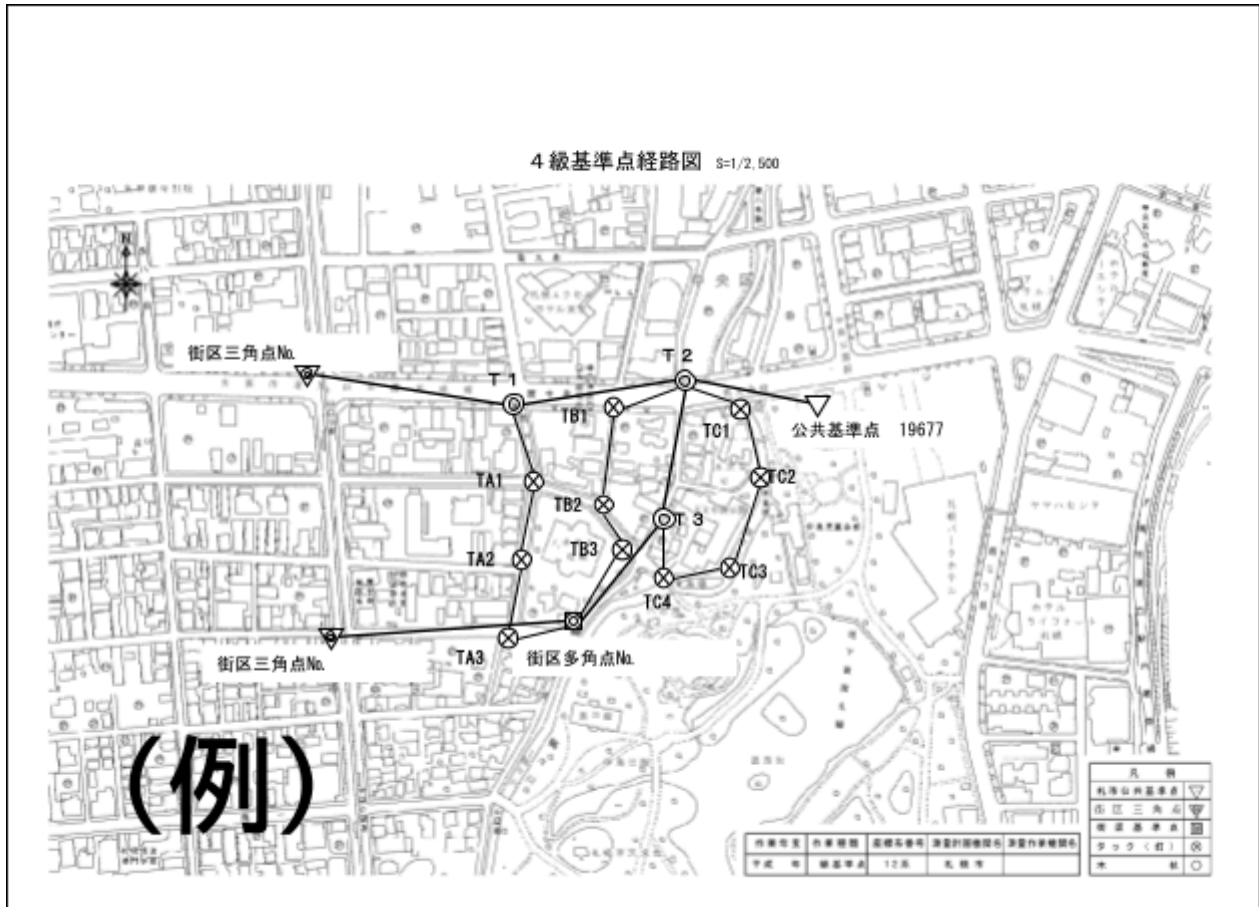
様式13 平均図



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のを標準として使用すること。

様式14 基準点経路図 (TS等観測)

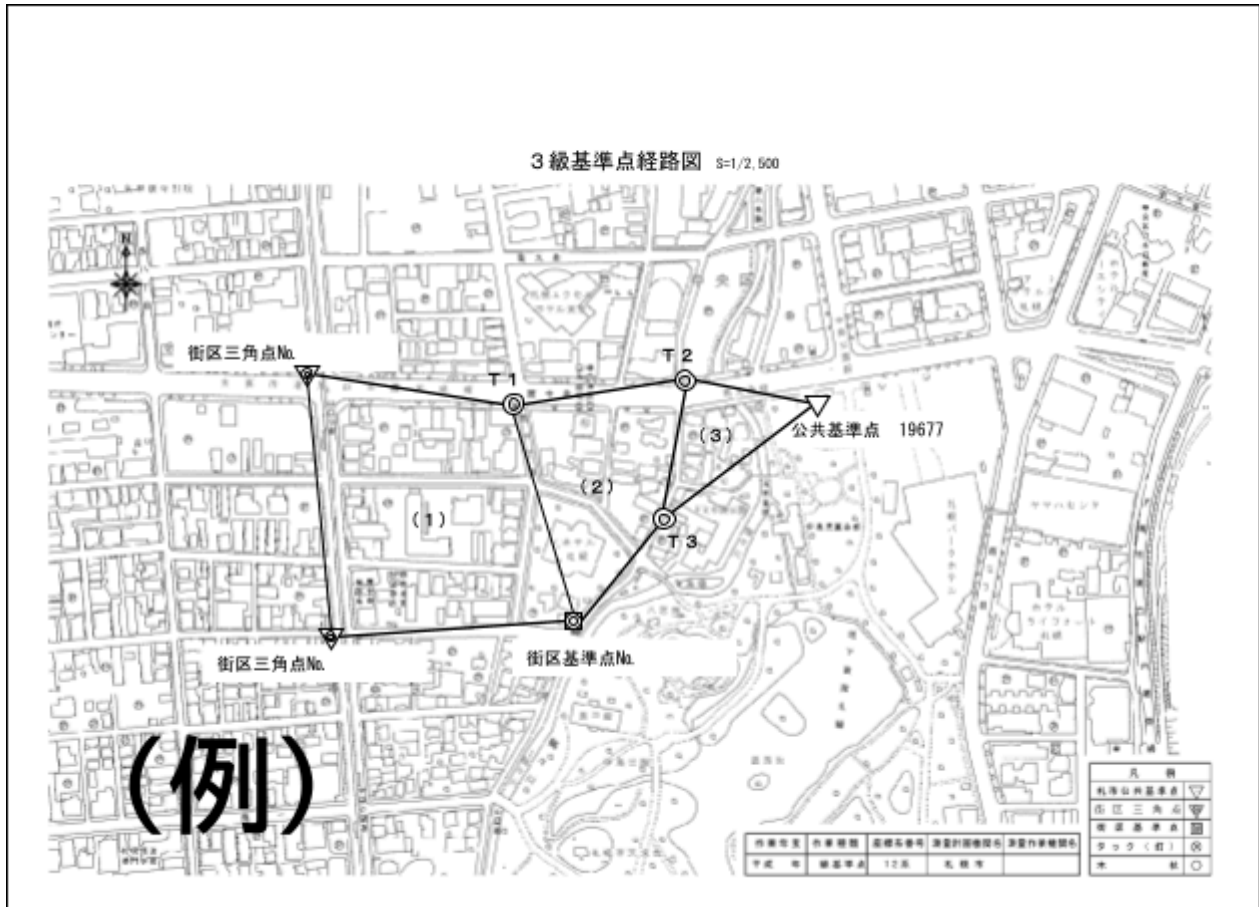
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。

様式15 基準点経路図（GNSS観測）

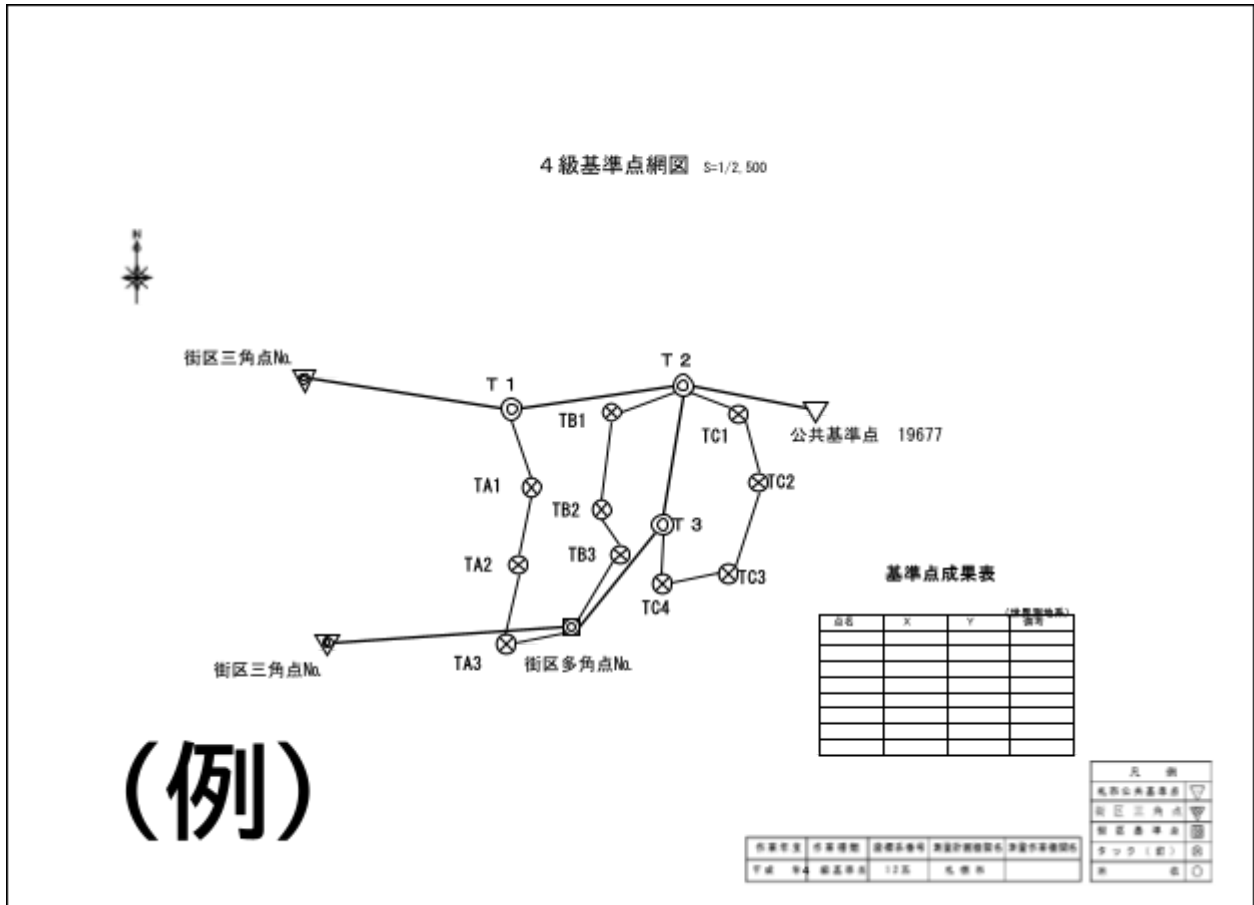
※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 電子基準点を使用する場合は、電子基準点までの経路を省略することができる。

様式16 基準点網図 (TS等観測)

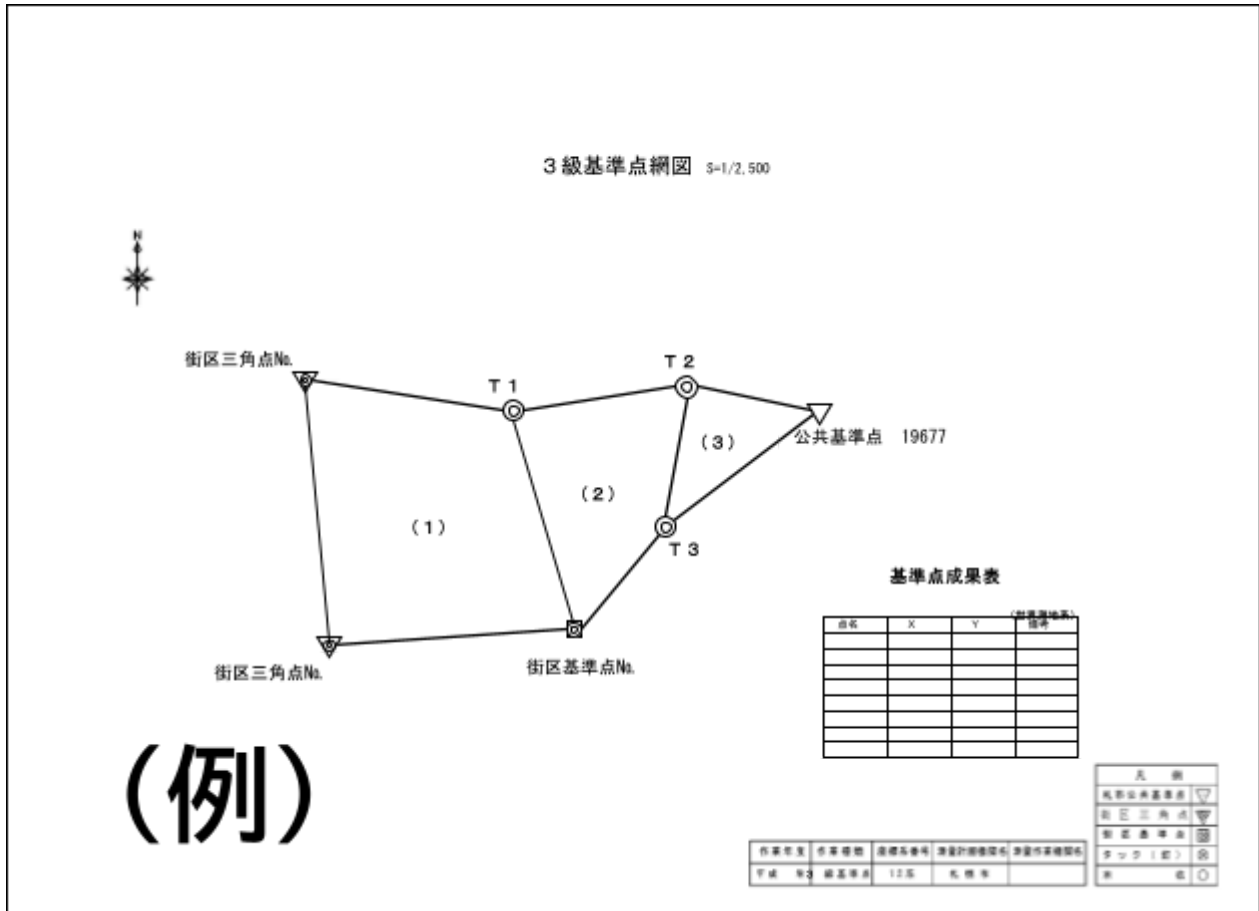
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 基準点間の方向角及び点間距離は不要とする。

様式17 基準点網図 (GNSS観測)

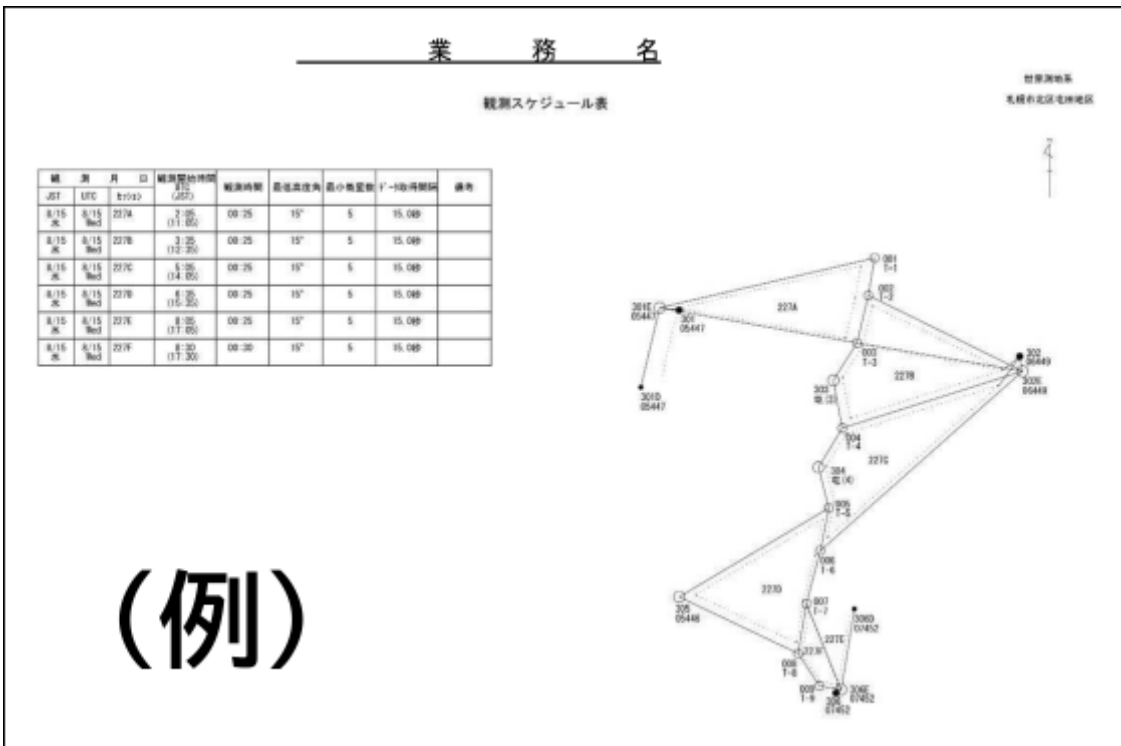
※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。



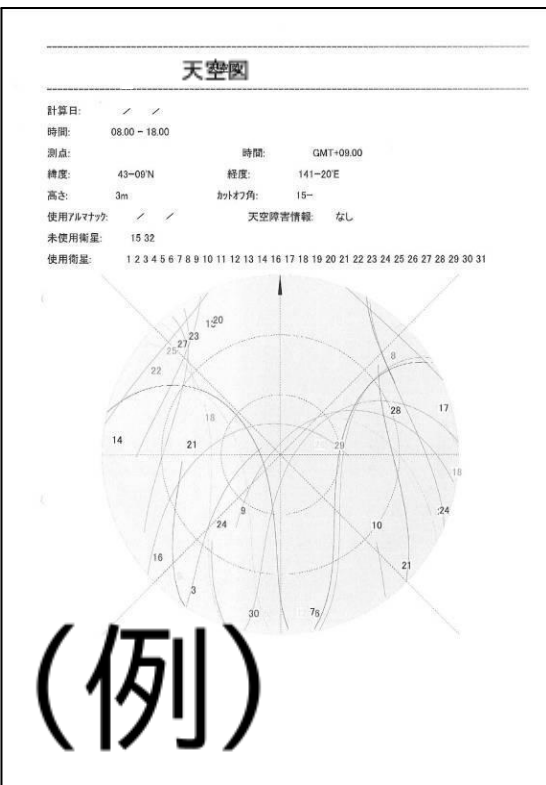
- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 電子基準点を使用する場合は、電子基準点までの経路を省略することができる。
- ※3 基準点間の方向角及び点間距離は不要とする。

様式18 (衛星情報関連様式)

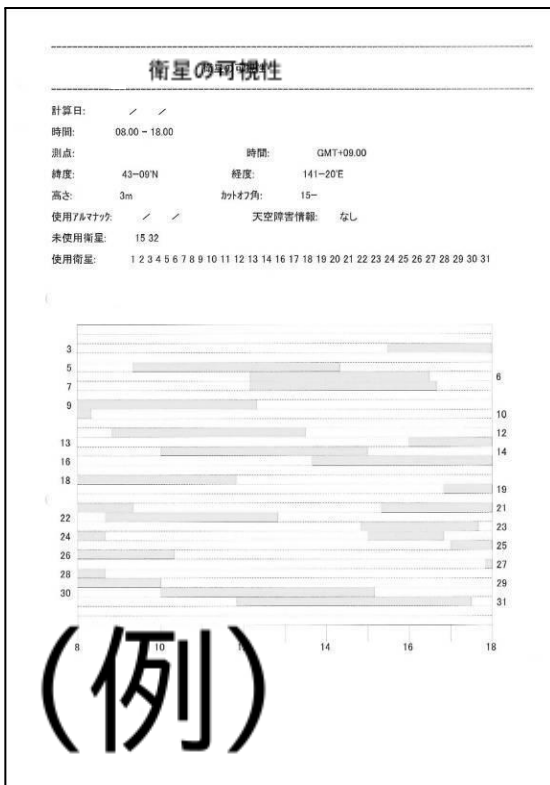
【1】



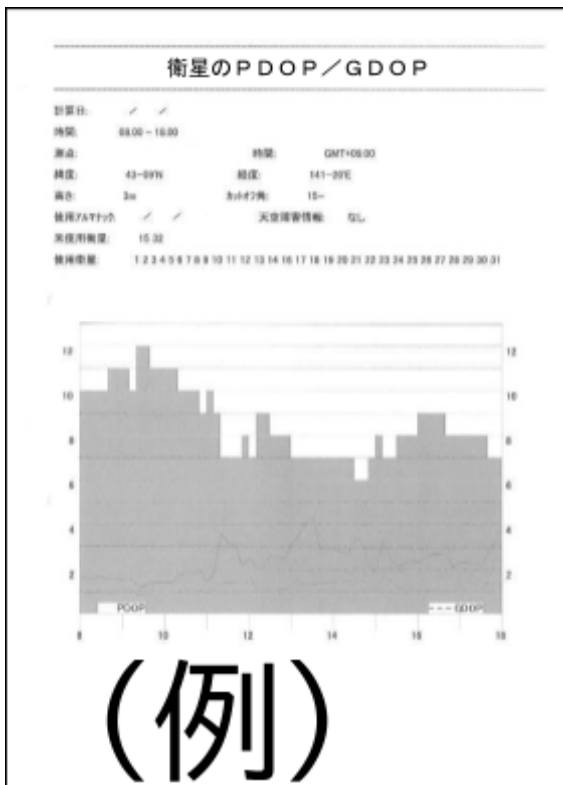
【2】



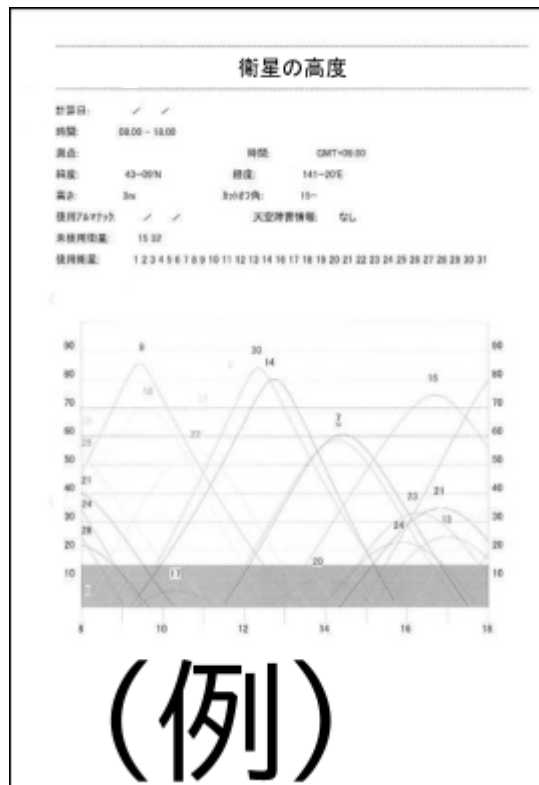
【3】



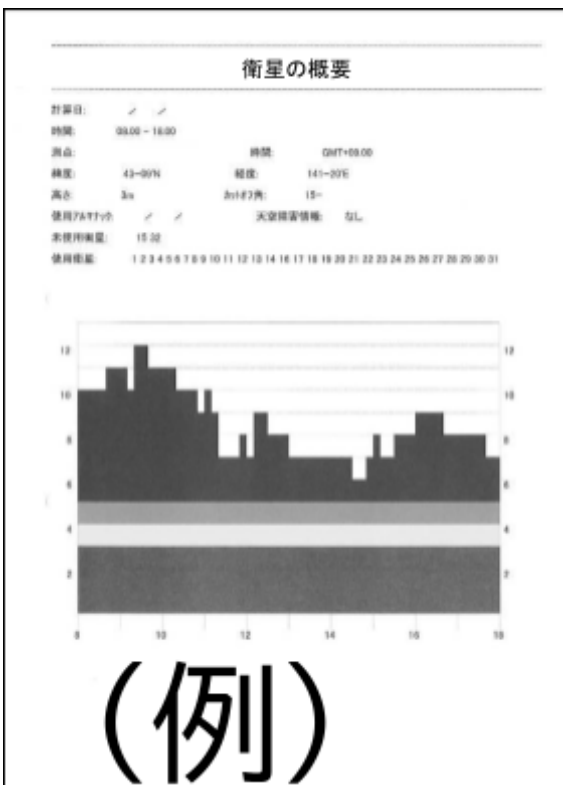
【4】



【5】



【6】



※ 基準点測量等をGNSSで行った場合は、観測手簿に加えて、衛星情報に関する【1】から【6】までの成果も納品すること。

様式19 過年度成果一覧表

※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 過年度の測量範囲を黒網掛けで分類し、当該地を黒太線又は黒塗りつぶしとする。

様式21 基準線設定図

※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。

(例)

基準線設定図 S=1/1,500

決定条件

① 路線番号 路線名
.....

② 路線番号 路線名
.....

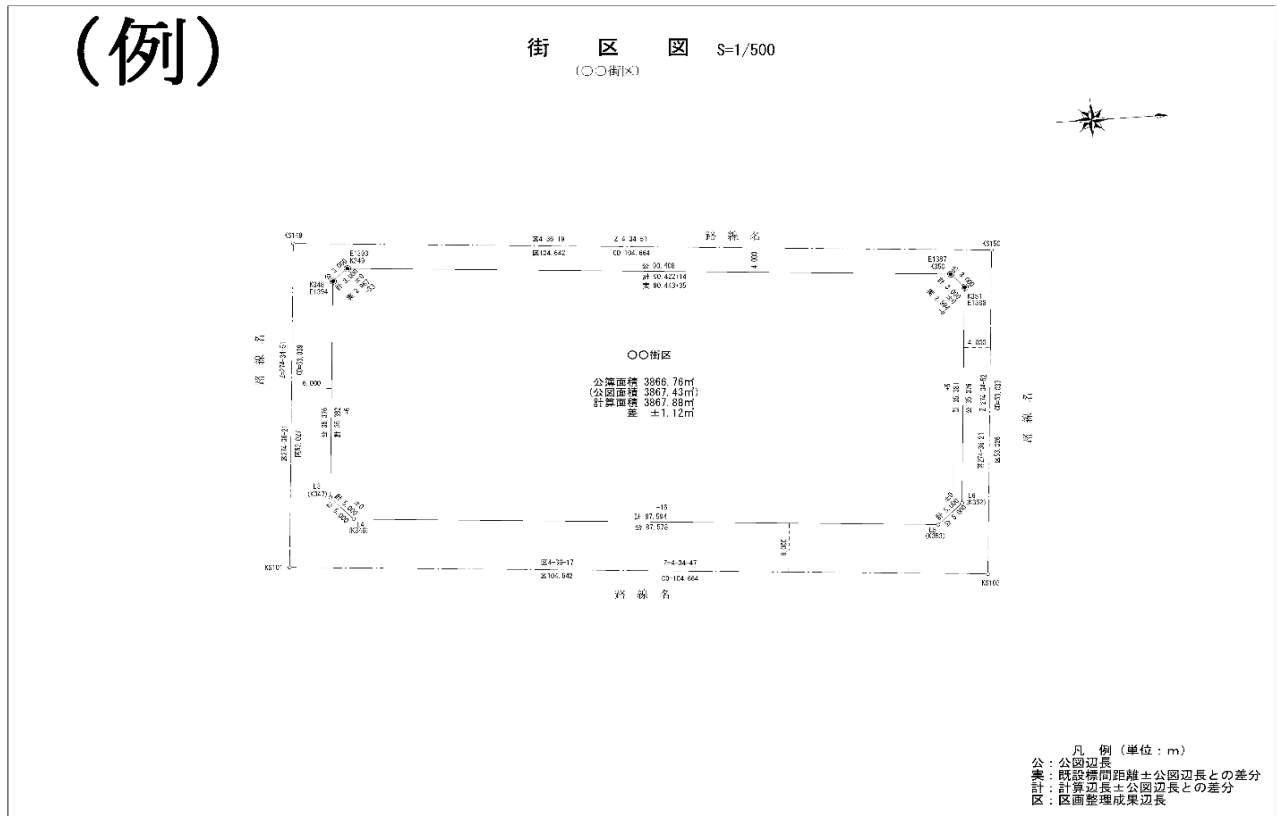
③ 路線番号 路線名
.....

成果表 (計算測地系)

点名	X	Y	備考

- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 用地測量において同様の目的で作成した「道路基準点網図」及び「中心点網図」についても、本様式を準用する。
ただし、事業完了後に復元した道路中心点等を再観測して図化した中心点網図は、用地測量成果に該当しないので、格納方法等について担当職員と協議すること。

※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。

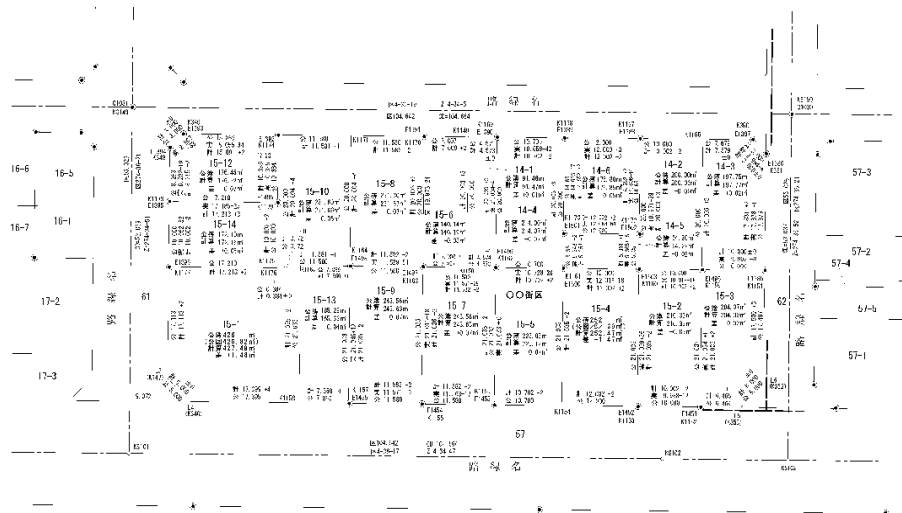


- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 公図辺長・計算辺長を記載すること。また、担当職員と協議の上、実測辺長及び既設境界標の位置誤差を記載すること。
- ※3 公簿面積と公図面積が異なる場合は、両方を記載し、公簿面積と計算面積との差分を記載すること。

※ 成果物一式を電子納品する場合は、資料コード枠必要なし。

(例)

各 筆 図 S=1/500
(〇〇街区)



成 果 表 (世界測地系)

点 名	X座標	Y座標	併 考	点 名	X座標	Y座標	併 考

【凡 例 (単位: mまたはm)】
 公: 公園辺長
 実: 既設標間距離±公園辺長との差分
 計: 計算辺長±公園辺長との差分
 区: 区画整理成果辺長
 公簿: 公簿面積
 公園: 公園面積
 計算: 計算面積
 差: 公簿面積と計算面積の差分

- ※1 A4版又はA3版(横長)とする。(電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。)
- ※2 公図辺長・計算辺長を記載すること。また、担当職員と協議の上、実測辺長及び既設境界標の位置誤差を記載すること。
- ※3 公簿面積と公図面積が異なる場合は、両方を記載し、公簿面積と計算面積との差分を記載すること。

様式24 面積計算書

面積計算書(座標法)					
所在及び地番	点の番号	縦線	倍積(Xn) × (ΔYn)	横線	倍積(Yn) × (ΔXn)
区 条 丁目 1 - 1	99LM5	-115261.670	1447110.266850	-79287.710	697176.834030
	99L6	-115260.192	1498497.756192	-79298.920	-308076.304200
	99L5	-115257.785	54977.963445	-79300.711	-833450.472610
	M1	-115249.682	-1653371.937972	-79299.397	-506405.949242
	M2	-115251.399	-1346943.100113	-79286.365	950484.943620
			270.948402	倍面積	-270.948402
				面積	135.4742010

地積更正	
所有者 札幌市	
地目 宅地	
公簿面積	m ²
公簿面積	m ²

(例)

- ※1 A4版、又はA3版(横長)とする。
- ※2 地図訂正・地積更正の有無について記載すること。

様式25 求積表

求 積 表

所 在	所有者	公 簿			実 測 地 積			備考
		地番	地目	地 積(m ²)	求 積 式		潰地積(m ²)	
				公簿 公図 更正				

※ 座標法（経緯距法）による記載例

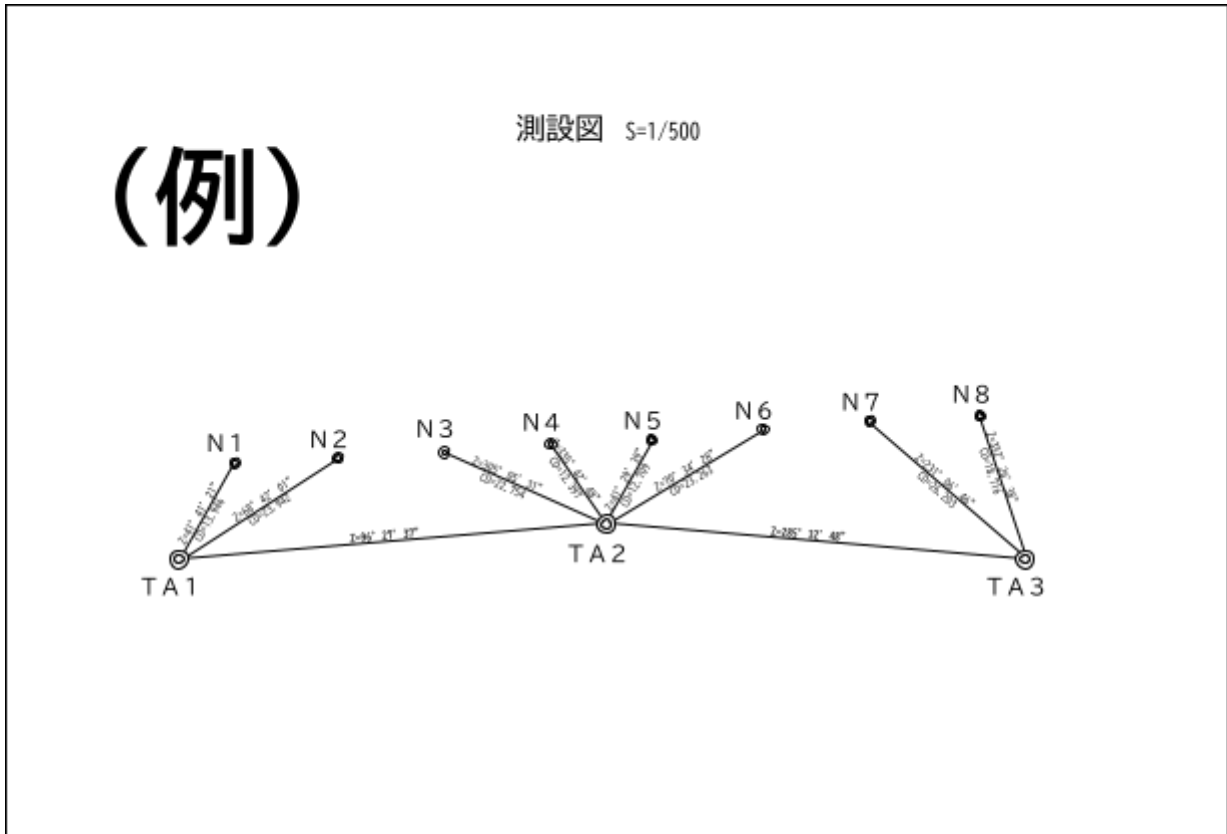
求 積 表

所 在	所有者	公 簿			実 測 地 積				備考			
		地番	地目	地 積(m ²)	求 積 式					潰地積(m ²)	残地積(m ²)	
〇〇区 〇〇〇	〇〇 〇〇	〇-〇	〇〇	公簿 〇〇,〇〇 公図 〇〇,〇〇 更正 〇〇,〇〇	点名	X座標	Y座標	(ΔX)	(ΔX)×(Y)			例) 地図・地積 更正
					N1	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇,〇〇	〇〇,〇〇	
					N2	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇			
					N3	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇			
					N4	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇			
					・	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇			
					・	-〇〇〇,〇〇〇	-〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇			

※ 担当職員と協議のもと、求積式を省略することも可。

様式26 測設図

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）

様式28 境界確認一覧表

(例)

測量台帳コード	備考

境界確認一覧表

整理番号	土地の表示		公簿		土地所有者		立入						確認書類		結果				折衝記録簿	備考				
	所在	地番	地目	地積 (㎡)	氏名	登記簿住所	口	世帯	郵便	返送	再送	送付不明	度	郵	承	保	拒	その他						
						現住所															配	送	送	送
1	札幌市〇区1条1丁目	1番1	宅地	12345.67	札幌 太郎	札幌市〇区1条1丁目1番1			12/13						12/18		12/20							
2	札幌市〇区1条1丁目	1番2	原野	11	札幌 花子 (持分1/2)	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14						12/19		12/21						○	
	札幌市〇区1条2丁目	1番3	宅地	12347.67	札幌 花子	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14						12/19		12/21						○	
	札幌市〇区2条1丁目	1番1	畑	12348.67	札幌 花子	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14						12/19		12/21						○	
3	札幌市〇区1条1丁目	1番2	原野	11	札幌 次郎 (持分1/2)	札幌市〇区1条1丁目1番4 札幌市〇区2条2丁目2番2			12/14	12/15	12/16				12/19				12/22				○	
4	札幌市〇区1条3丁目	1番3	田	1234.56	札幌 三郎	札幌市〇区1条1丁目1番4		12/12											12/12				○	
5	札幌市〇区1条4丁目	1番4	宅地	12.34	札幌 四郎	札幌市〇区1条4丁目1番4			12/14	12/15	12/16	12/17										○	○	
6	札幌市〇区1条5丁目	1番5	雑種地	0.98	札幌 五郎	〇〇市1番1			12/14						12/19							○	○	
7	札幌市〇区1条1丁目	1番6	宅地	123.45	〇〇省			12/12							12/18		12/20							
8	札幌市〇区1条2丁目	1番7	宅地	543.21	札幌市 (所管：〇〇課)			12/12		1番					12/18		12/20							
9	札幌市〇区1条1丁目	1番8	公衆用道路	1.23	札幌市																			

- ※1 A3版(横長)を標準とする。
- ※2 一覧表は2部作成する。
 - ア 担当職員提出用 …………… 境界確認書作成時にあわせて担当職員に提出する。(境界確認願いとこの契印は、上記の氏名欄に押す)
 - イ 成果物(提出用) …………… 確認結果・備考等を追記し、確認書(承諾書)ファイルの最初に綴る。
- ※3 整理番号欄
確認書(承諾書)の綴り順に応じて整理番号を付ける。
- ※4 備考欄の記載例
 - ① 不承諾理由
 - ② 土地所有者又は確認者の連絡先(T E L)
 - ③ 土地所有者と確認者が異なる場合は、土地所有者から見た、確認者との関係
親族等の場合：配偶者、子、親(親権者)、相続人、後見人、共有者代表、代理人等
法人等の場合：代表者、社員、代理人、承継人等
その他の場合：財産管理人、清算人、管理組合の役職等
 - ④ その他特筆すべき事項を記入する。
- ※5 「立入通知」「確認書類」「結果」の各欄へ、それぞれの日付(月/日)を記入すること。

(土地所有者の氏名又は名称) 様

札幌市長

㊟

境界確認のお願い

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。
さて、このたび 測量の結果、

(次頁の枠内記入例より選択)

との境界(朱書)をご確認いただくため、別紙「境界確認書」をお送りさせていただきました。内容についてご確認いただきましたら、ご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたします。

【自由記載例1】

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格の境界杭を埋設することについてご了承ください。

【自由記載例2】

なお、このたび埋設(設置)しました境界杭は、あなた様の所有地と隣接地との境界を示すものですので、関連地権者の皆様とご協力のうえ大切に管理されますようお願いいたします。(該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

なお、ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

必要に応じて
記入すること。

1. 受託者
会社名
担当者
電話
2. 札幌市担当者
所属
担当者
電話

※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。

境界確認願い 枠内記入例

1. 境界確認の場合

あなた様の所有地 札幌市 区 条 丁目 番 と隣接する「学校用地・公園用地・住宅用地・道路敷地等」札幌市 区 条 丁目 番（別添、「登記資料図面等・実測図・土地所在図」のとおり“分筆・地図訂正・地積更正等”）

※ 上記「」内は必要に応じて選択すること。また、登記申請を行う場合は、必要に応じて“ ”内を選択して追記すること。

2. 寄付並びに分筆がともなう場合

あなた様から寄付承諾をいただいております 札幌市 区 条 丁目 番（別添、登記資料図面等のとおり分筆）と隣接地

3. 事業予定地の場合

事業予定地 札幌市 区 条 丁目 番（別添、登記資料図面等のとおり分筆）は、あなた様の所有地であります、その土地と隣接地

4. 境界確認が必要な対象地を多量に所有している場合

事業予定地 札幌市 区 条 丁目 番ほか 筆（別紙添付）は、あなた様の所有地であります、その土地と隣接地

【別紙添付例】

事業予定地（所有地）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	<ul style="list-style-type: none"> ●別添、登記資料図面等のとおり分筆 〇番〇、〇番〇… ●別添、登記資料図面等のとおり分筆および地図訂正および地積更正 〇番〇、〇番〇… ●別添、実測図のとおり 〇番〇、〇番〇… ●別添、土地所在図のとおり 〇番〇、〇番〇…

関係隣接地（上記以外の所有地）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	〇番〇、〇番〇…

関係隣接地（その他の土地所有者）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	〇番〇、〇番〇… 国有地（札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇地先）

5. 事業予定地所有者としての境界確認の他に、他の事業予定地所有者または道路敷地に対する隣接地所有者としての境界確認が必要な場合

下記土地

※下段の「記」の箇所に一覧表として追加記載する。(以下例参照)

記

【ご確認いただく土地境界】

●あなた様の所有地（事業予定地）の土地境界について

あなた様の所有地 (事業予定地)	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 (別添、登記資料図面等のとおり〇〇)
関係する隣接地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 道路敷地(国有地)

●あなた様の所有地と隣接する事業予定地および道路敷地との土地境界について

あなた様の所有地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇
関係する隣接地 (事業予定地および道路敷地)	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (別添、登記資料図面等のとおり〇〇) 札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (別添、土地所在図のとおり)

【お問い合わせ先】

- 受託者 会社名 〇〇〇〇
担当者 〇〇 〇〇 (電話: 〇〇 - 〇〇 - 〇〇)
- 札幌市担当者 所属 札幌市〇〇局 〇〇部 〇〇課 〇〇係
担当者 〇〇 〇〇 (電話: 〇〇 - 〇〇 - 〇〇)

6. その他

担当職員と協議すること。

(あて先) 札幌市長

<確認者>

住 所

氏 名

土地所有者から見た関係 ()

境 界 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札建測 第 号により照会のありました、
下記土地の境界について、別添図のとおりであることを確認しましたので、境界確認
書を提出します。

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格
の境界杭を埋設することについて了承いたします。

記

必要に応じて
記入すること。

枠内を、あらかじめ記載しておくこと。
対象地：確認者に確認を求める土地。
隣接地：対象地側から見た確認を必要とする土地。(道路敷地も含める)

対象地や隣接地が多量な場合

対象地	土地の所在・地番	札幌市○区○条○丁目○番○ (ほか○筆 別紙添付) ※3
	土地所有者(名義人)	○○ ○○
隣接地	土地の所在・地番	札幌市○区○条○丁目○番○ (ほか○筆 別紙添付) ※3

注 「境界確認書」と図面が別紙の場合には確認者の書き判又は割印を行って下さい。

- ※1 A4版(縦長)とする。
- ※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。
- ※3 対象地や隣接地が多量な場合追記する。
- ※4 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

様式31 道路区域確認のお願い

(土地所有者の氏名又は名称) 様

令和 年(西暦年) 月 日
札建測 第 号

札幌市長

㊟

道路区域確認のお願い

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。
さて、このたび _____ (業務名記入) _____ 測量の
結果、 _____ (路線名記入) _____ の道路区域をご確
認いただくため、別紙「道路区域確認書」をお送りさせていただきました。内容について
ご確認いただきましたら、ご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたし
ます。

なお、ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

1. 受託者

会社名
担当者
電話

2. 札幌市担当者

所属
担当者
電話

図中に、確定線に対する既設境界標の誤差量を記入
する場合は、事前に担当職員と協議すること。

注1 「道路区域確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行っ
て下さい。

注2 境界確認後、「道路区域確認書」添付図面の◎印の位置については、札幌市規格の
境界杭を埋設しますのでご了承下さい。

※1 A4版(縦長)とする。

※2 道路区域内の土地が使用承諾済、未処理用地の場合、確認が必要な隣接地に使用する。

(あて先) 札幌市長

<確認者>

住 所

氏 名

土地所有者から見た関係 ()

道 路 区 域 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札幌測 第 号により照会のありました
 下記 (路線名記入) の道路区域界(赤線部)について、別添図の
 とおりであることを確認しました。

また、「道路区域確認書」添付図面の◎印の位置については、後日札幌市規格の境界杭を埋設することを了承いたします。

必要に応じて記入すること。

記

枠内を、あらかじめ記載しておくこと。

対象地	土地の所在・地番	札幌市 区
	土地所有者(名義人)	
隣接地	土地の所在・地番	札幌市 区

- ※1 A4版(縦長)とする。
- ※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。
- ※3 道路区域内の土地が使用承諾済、未処理用地の場合、確認が必要な隣接地に使用する。
- ※4 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

様式34 境界確認書（市役所内部用）

令和 年 月 日

（あて先）建設局長（市長）
※2（道路管理者）

局長（区長・市長）
※2（〇〇管理者）

境界確認書

令和 年(西暦年) 月 日付 札建測 第 号により照会のありました
件について別添図のとおりであることを確認しました。

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格の境界杭を埋設することについて了承いたします。

必要に応じて
記入すること。

当局（区）所管地の表示

札幌市 区 番

隣接地

札幌市 区 番

《担当課》
所属
担当者
電話

- ※1 A4版（縦長）とする。
- ※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

(土地所有者の氏名又は名称) 様

札幌市長

印

境界杭の埋設について (確認願い)

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。
さて、このたび (業務名記入) 測量の結果、あなた様の所有地 札幌市 区 条 丁目 番 の例①~④

- 例① 境界に打設されておりました仮杭を境界杭に置き換えました
- 例② 境界に打設させていただきました仮杭と同じ位置に、境界杭を設置いたします
- 例③ 境界点に境界杭を設置いたします (いたしました)
- 例④ その他 (担当職員と協議の上作成)

ので、ご確認いただきましたら、別紙「境界杭確認書」にご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたします。

また、このたび埋設 (設置) しました境界杭は、あなた様の所有地と隣接地との境界を示すものですので、関連地権者の皆様とご協力のうえ大切に管理されますようお願いいたします。(該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

なお、ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

1. 受託者

会社名
担当者
電話

2. 札幌市担当者

所属
担当者
電話

市有地の直線上の切合い点に民×民の境界杭を設置する場合に付記すること。

※ A4版 (縦長) とする。

(あて先) 札幌市長

<確認者>

住 所

氏 名

土地所有者から見た関係 ()

境 界 杭 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札幌測 第 号により照会のありました例
①~③

- 例① 境界杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしました。
- 例② 境界仮杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしましたので、隣接する土地所有者全員の境界杭確認終了後、別添図に表示された位置に境界杭を埋設することについて了承いたします。
- 例③ その他(担当職員と協議の上作成)

~追記例~

このたび確認しました境界杭は、私と関連地権者の責任において管理いたします。
(該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

市有地の直線上の切合い点に「民×民」の境界杭を設置する場合に付記すること。

記

枠内を、あらかじめ記載しておくこと。

土地の所在・地番	札幌市 区
土地所有者 (名義人)	

注 「境界杭確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行って下さい。

※1 A4版(縦長)とする。
 ※2 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

令和 年 月 日

（あて先）建設局長
※2（道路管理者）

局（区）長
※2（〇〇管理者）

境界杭確認書

令和 年（西暦年） 月 日付 札建測 第 号により照会のありました
例①～③

例① 境界杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしました。

例② 境界仮杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしましたので、隣接する土地所有者全員の境界杭確認終了後、別添図に表示された位置に境界杭を埋設することについて了承いたします。

例③ その他（担当職員と協議の上作成）

～追記例～

このたび確認しました境界杭は、当局と関連地権者の責任において管理いたします。
 （該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

当局（区）所管地の表示
札幌市 区 番

隣接地
札幌市 区 番

市有地の直線上の切合い点に「市×民」の境界杭を設置する場合に付記すること。

《担当課》
所属
担当者
電話

注「境界杭確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行って下さい。

※1 A4版（縦長）とする。

※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

様式39 精度管理表（基準点測量）

【TS等観測】

基準点測量 精度管理表										世界測地系				
業務名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長						
目的		期間		作業量	級基準点 点	主任技術者								
路線番号	測点番号	路線長 (km)	内角数	辺数	点 検 計 算				偏 心 m	再測数	水平位置 (距離)			
					水平位置(m)		標高(m)				単位重量の標準偏差	許容範囲	高低角の標準偏差	許容範囲
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲						
										S=0 T=0 V=0				
									再測率	0%				
点 検 測 量										主要機器名称番号				
測点番号	距 離			水 平 角			鉛 直 角							
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	永久標識の種別等				
	m	m	m	〇 . 1 " "	〇 . 1 " "	" "	〇 . 1 " "	〇 . 1 " "	" "	種別 数量 埋設様式				
										特記事項				

【GNSS観測】

基準点測量 精度管理表										世界測地系						
業務名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長								
目的		期間		作業量	級基準点 点	主任技術者										
基線解析辺			仮定三次元網平均						三次元網平均計算				主要機器名称番号			
測点名	自：	至：	△X		△Y		△Z		斜距離の偏差							
		辺長 (斜距離)	偏差	許容範囲	偏差	許容範囲	偏差	許容範囲	偏差	許容範囲	偏差	許容範囲	偏差	許容範囲		
新点位置の標準偏差					点 検 測 量					特記事項						
新点名	水平位置		標 高		測点名 自：	測点名 至：	点検値	採用値	較差					較差		
	標準偏差	許容範囲	標準偏差	許容範囲						測定方法 スタティック						

※ A4版、又はA3版（横長）とする。

様式41 写真帳

写 真 帳 (例)

写真

一連番号

No. 1

保安対策、交通安全対策(工程毎)

写真

No. 2

新設境界点 N1

材料等 (種類毎)

写真

No. 3

新設境界点 N1

施工前仮杭

写真

No. 4

新設境界点 N1

埋設状況

写真

No. 5

新設境界点 N1

完成状況

背景を入れた仕上り状態

- ※1 デジタル写真を編集し台紙に直接印刷しても可とする。ただし電子納品の場合は形式 (JPEG・PDF等) について担当職員と協議すること。
- ※2 ① 保安対策及び交通安全対策 (工程毎)
 ② 使用材料 (部材寸法・規格チェック、種類毎)
 ③ 施工前 (仮杭・全点)
 ④ 一連の埋設状況の写真 (掘削・境界杭立込・埋め戻し等、種類毎の代表箇所)
 ⑤ 完成 (仕上り状態チェック・全点) の順に整理するものとする。
- ※3 撮影に際しては、点No・日付・業務名等を明記した黑板等 (電子を含む) を立て撮影すること。ただし、埋設状況の撮影に際しては、実寸法を明記した掘削断面図を黑板等 (電子を含む) に追記し、ロッド・ピンポール・スチールテープ等で確認できるよう撮影すること。

様式44 現況調査図

(例)

現況調査図

S-1:250

※本図面は、現況の調査結果を基にした参考資料です。

【参考資料】

土地の所在：札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇
 土地所有者：〇〇〇〇

内容：建物、コンクリート塀、駐車場

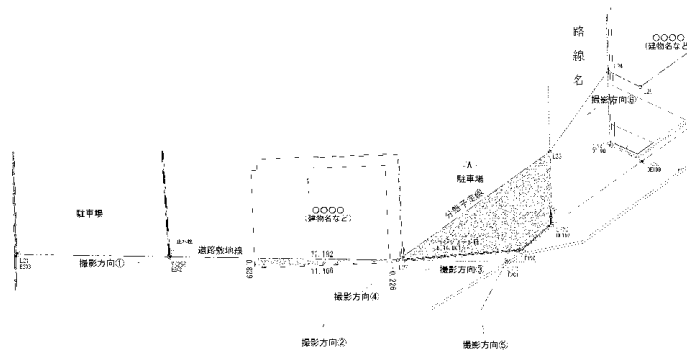
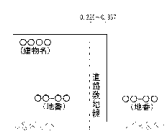
求 積 式

建物 640㎡換による = 5.94㎡
 駐車場(737㎡) 640㎡換による = 47.25㎡

凡 例

分筆予定線
 土地境界線
 道路敷地線

側 面 図



撮影方向①

撮影方向②

撮影方向③



- ※1 A3版（横長）を標準とする。
- ※2 複数の物件について作成する場合は、位置図（見取図）を作成し、共通の番号を付すこと。
- ※3 境界に近接する構造物については、境界との距離を記載すること。
- ※4 構造物の状況により、必要に応じて側面図も作成すること。
- ※5 その他、現況調査図に記載する対象物の範囲は、担当職員の指示によるものとする。

様式45 境界確認証明書（法務局提出用）

所轄の出張所名を記入

札幌法務局（〇〇出張所）長 様
 令和 年(西暦年) 月 日
 札建測 第 号

札幌市長 ○ ○ ○ ○ ㊟

隣接土地所有者土地立会及び境界確認証明書

登記の目的を記入

本市の _____（業務名記入） _____ のため、不動産登記法の規定に基づいて _____ の登記申請書に添付した測量図は、下記隣接土地所有者の確認を受けたものであることを証明する。

元地番等を記載

申請対象地： ○区 ○○○○—○○ _____

記

所 在	地 番	登 記 簿 住 所	氏 名
		現 住 所	
		※ 登記簿の住所を記入 ※ 現住所を記入	

※ A4版(縦長)とする。

様式47 河川台帳調書

《様式-6》

土地所有者一覧

土地の所在	公簿		土地所有者		取得年月日	前土地所有者名	備考
	地番	地目	氏名または名称	住所			
〇区〇条〇丁目	〇〇-〇〇	山林	建設省		H28.3.16	札幌市	
〃	〇〇-〇〇	原野	建設省		H28.2.12	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	雑種地	国土交通省		H28.2.12	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	田	国土交通省		H28.3.13	〇〇 〇〇 ほか4名	前所有者他4名：〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、 〇〇 〇〇、〇〇 〇〇
〃	〇〇-〇〇	雑種地	札幌市		H27.10.6	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	宅地	札幌市		H27.9.21	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	公衆用道路	建設省		H28.1.13	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	宅地	建設省		H27.9.21	札幌市	
〇区〇条〇丁目	〇〇-〇〇	雑種地	国土交通省		H28.2.12	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	雑種地	国土交通省		H28.1.29	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	山林	札幌市		H28.1.29	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	畑	札幌市		H28.1.29	〇〇 〇〇	
〃	〇〇-〇〇	畑	建設省		H28.1.29	〇〇 〇〇	
〇区〇条〇丁目	〇〇-〇〇	宅地	建設省		H27.11.1	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇、〇〇-××に分筆 〇〇-〇〇買収
〃	〇〇-〇〇	雑種地	国土交通省		H28.3.13	〇〇 〇〇 ほか1名	前所有者他1名：〇〇 〇〇

- ※1 河川台帳整備測量実施時に作成すること。
- ※2 河川区域内の土地の現在の土地所有者及び前土地所有者（用地買収前の土地所有者）を収集した土地登記簿より記載すること。
- ※3 作成した一覧表は、仕様書 様式18の「土地所有者一覧表」と同様に、電子納品用のCD-R内に格納すること。

様式48 登記資料図面

地図番号、	境界標の種類及び筆界点の記号又は点名、						地番	登記資料図面
	種類、							
	既設、						土地の所在	
	新設、							
与点の種類、	イ.公共基準点、	ロ.国根点、	ハ.登記基準点、	ニ、				
作成者					申請人			
						縮尺		

※1 作成者欄は記入せず空欄とすること。

※2 B4版で作成すること。

札幌市公共測量作業要領 改訂履歴

平成	2年	3月	発	行
平成	3年	3月	第1回	改訂
平成	6年	3月	第2回	改訂
平成	8年	3月	第3回	改訂
平成	11年	8月	第4回	改訂
平成	17年	4月	第5回	改訂
平成	18年	4月	第6回	改訂
平成	20年	4月	第7回	改訂
平成	21年	4月	第8回	改訂
平成	22年	4月	第9回	改訂
平成	23年	4月	第10回	改訂
平成	26年	5月	第11回	改訂
平成	27年	5月	第12回	改訂
平成	28年	4月	第13回	改訂
平成	29年	4月	第14回	改訂
平成	30年	4月	第15回	改訂
令和	2年	3月	第16回	改訂
令和	2年	10月	第17回	改訂
令和	3年	10月	第18回	改訂
令和	4年	3月	第19回	改訂
令和	6年	3月	第20回	改訂
令和	7年	3月	第21回	改訂
令和	8年	3月	第22回	改訂
令和	8年	4月	第23回	改訂
